

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	あやかりの杜滞在型施設活用事業					
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度 平成24～令和3年度					
事業内容	長期滞在型宿泊施設やキャンプ場等がある「あやかりの杜」を活用し、野外活動や沖縄の自然、伝統文化の学習等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,041	4,000	5,000	5,000	5,000
		(b) 予算現額	6,041	4,000	5,091	5,000	5,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	91	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,041	4,000	5,091	5,000	5,000
	B. 執行済額		6,039	3,999	5,091	5,000	4,843
	うち交付金充当額		4,831	3,199	4,073	3,999	3,874
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	96.9%
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	体験交流事業	目標	(15事業)	(17事業)	(18事業)	(14事業)	
		実績	22事業	17事業	8事業	11事業	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座内容の見直しや開催可能な講座の追加の検討を行ったが、開催できる事業が限られてしまい、目標を達成することができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	体験交流人数	目標	()	(500人)	(550人)	(580人)	()
		実績		607人	294人	242人	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、人数制限を設けなければいけない状況となり、講座内容の見直しや開催可能な講座の追加を検討したが、開催講座が限られてしまい、目標人数を達成することができなかった。 ・受講希望者が多い事業も多くあったが、ソーシャルディスタンスの確保や施設利用ガイドラインに沿った内容で行わざるを得ない状況だったことや緊急事態宣言等により施設が活用できず、講師の確保や受講回数を増やすことも困難だったことや、コロナの状況から講座直前でのキャンセルも多かったことから、十分な体験交流人数を確保できなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しながら、開催時期を選定する必要があり、講座について周知期間の不足などが生じた。 村内の民泊団体と連携し、県外の修学旅行生をターゲットとして講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により修学旅行が実施されずに県外の来客者に対する周知を行うことができなかった。 講座開講するにあたり、新型コロナウイルス感染症対策を取る必要があり、参加人数を制限する必要があるため例年よりも体験交流人数を増やすことができなかった。 施設への長時間滞在を目的とした体験事業を計画し、多用途で利用できる施設であるアピールを行えるような事業を行った。(体験講座の組み合わせ) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染状況に注視しながら、事業計画で設定した日程を機動的に行う必要がある。 感染防止対策を村内の民泊団体と連携して取り組むことで、安心して受講できる講座の周知を県外修学旅行生に対して行う必要がある。 体験交流人数の設定についても新型コロナウイルス感染症を考慮した人数にするなどの検討も必要である。 新型コロナウイルス感染症に関して講師スタッフの打ち合わせを事前に行い、アルコール設置や参加前の検温などの予防を実施し、万全の体制で講座を開催できる環境を整える必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインに沿った事業計画(講座)を立案し、感染状況を注視しながら、柔軟な日程確保に取り組む。 新型コロナウイルスの状況に注視し、感染対策を取りつつ、村内にある民泊団体と連携して、修学旅行生を対象とした体験講座を検討する。 万全な体制で新型コロナ対策(講師スタッフの事前打合せや消毒液の設置、参加前の検温等)に取り組むことで、講座数や交流人数の増加に努める。 施設の利用用途の周知を行うにあたり、これまでに開催した事業を組み合わせ様々な設備等があることを周知できるような事業や施設への長時間滞在ができるような事業を計画する。

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th> <th rowspan="2">交付対象事業費</th> <th colspan="2">交付金充当額</th> <th rowspan="2">交付対象外経費</th> </tr> <tr> <th>市町村負担金</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,843</td> <td>4,843</td> <td>3,874</td> <td>969</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費	市町村負担金		4,843	4,843	3,874	969	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額			交付対象外経費											
		市町村負担金														
4,843	4,843	3,874	969	0												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">北中城村 4,843千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">委託料 4,843千円</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">特定非営利活動法人 あやのふあ 4,843千円</div>	(あやかりの杜滞在型施設推進業務)													

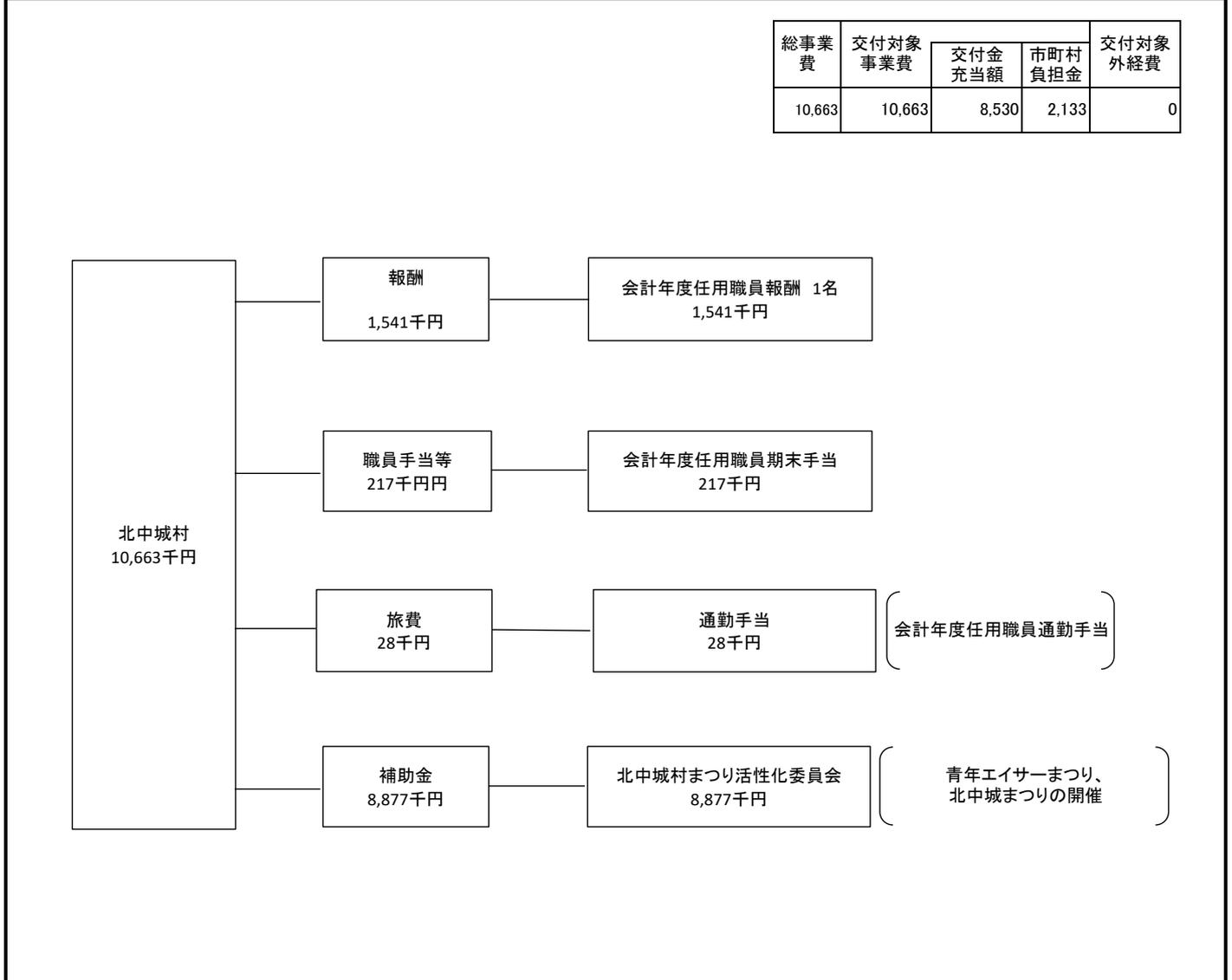
資金の流 点検 評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、施設の指定管理者であり、当該施設に熟知していることを勘案した上で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用額が事業費の5%以内であることから、適正な規模であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用や用途については、精算時に検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	北中城まつり活性化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア	
担当部課名	企画振興課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	伝統芸能プログラムを中心とした夏の「青年エイサー」、秋の「北中城まつり」を開催し、観光誘客を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,141	11,657	16,533	16,744	16,861
		(b) 予算現額	24,141	12,719	16,533	465	18,838
		(c) 増減額(b-a)	0	1,062	0	▲16,279	1,977
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	24,141	12,719	16,533	465	18,838
	B. 執行済額		22484	12066	10324	463	10,663
	うち交付金充当額		17986	9652	8259	370	8,530
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		93.1%	94.9%	62.4%	99.6%	56.6%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス対策としてまつり開催に係る警備費として1,977千円増額した。不用額の8,175千円については新型コロナウイルス感染拡大に伴いまつりの通常開催がおこなえず当日予定していた会場設営費や警備委託料が不要となったため。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	まつりの開催支援	目標	(開催支援)	(開催支援)	()	(開催支援)	
		実績	開催支援	開催支援		開催支援	
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	新型コロナウイルス感染拡大の影響で有観客開催を行うことができず、自宅等から閲覧することができる本村ホームページやまつり活性化委員会のYoutubeチャンネルから配信のオンライン開催となった。配信内容は事前録画し、エンディングの花火は配信日に打ち上げ生配信を行った。ひまわりまつりは新型コロナウイルス感染予防の観点から中止が決定した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	北中城村青年エイサーまつり来場者数	目標	()	(7000)	()	(7400)	()
		実績		6250		5774	
	北中城まつり来場者数	目標	()	(24000)	()	(24000)	()
		実績		17570		9164	
進捗状況説明	青年エイサーまつり及び北中城まつりについて新型コロナウイルス感染拡大の影響により動画配信によるオンライン開催となったため、村ホームページとまつりYoutubeチャンネルの閲覧回数の合計数で算出。 ・青年エイサーまつり: 目標値の8割に達しており、目標は概ね達成できた。 ・北中城まつり: 当初2日間の通常開催として12000人×2日間で目標としていたが、オンライン開催となったため1日のみの開催となったため目標数を下回った。 視聴画面で1人以上の閲覧が見込まれるため視聴回数以上の人数が閲覧していると考えられる。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(青年エイサーまつり) 新型コロナウイルスの影響で開催方法が定まらずまつり開催周知期間が短かった。 新型コロナウイルスの影響でエイサー演舞が行えず過去の演舞動画の配信となった。 上記のことから目標値を達成できなかった。	(青年エイサーまつり) 新型コロナウイルスの影響によって開催方法の変更に対応できるよう定めておき周知期間を確保する必要がある。 エイサー演者への演舞前の感染検査の実施や練習の際の感染対策の補助などを検討し演舞がおこなえる体制づくりを検討する。
	(北中城まつり) 新型コロナウイルス感染状況により事前撮影の動画配信によるオンライン開催となった。 村の伝統芸能の継承をテーマに開催し、配信時に伝統芸能が理解しやすいような編集で披露することができた。	(北中城まつり) まつり通常開催時に来場者が伝統芸能を理解できるようなまつりの演出が必要。 (各まつり共通の留意事項) Web視聴以外での視聴方法の検討。

今後の取り組み方針	
(青年エイサーまつり) 令和3年度の開催までの流れを踏まえ、新型コロナウイルス感染状況に基づくまつり開催方法の変更対応フローを作成。 まつり演舞の感染対策の徹底と演舞前の抗原検査等でのクラスター対策をおこなうなど演者の安全性を考慮しながらまつりを開催する。	
(北中城まつり) 伝統芸能を理解できるような大型モニターでの字幕表示や演目の説明等の充実を図る。	
(各まつり共通の留意事項) 村施設や各公民館での上映を検討する。	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



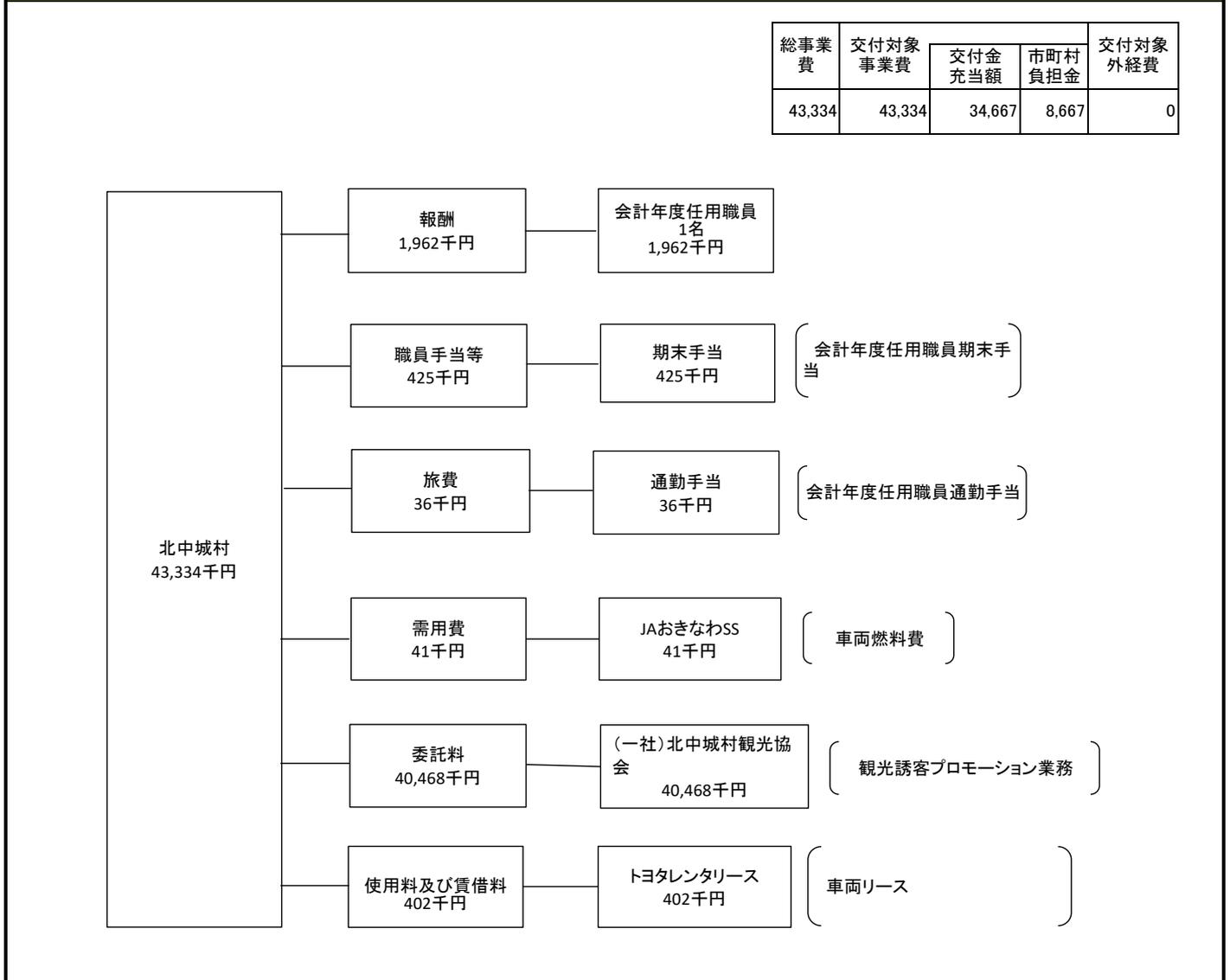
資金の流 れ、 費 目 ・ 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助先のまつり活性化委員会は、村内各種団体で構成され、まつりを主催することから、妥当であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・まつりの日程が変更・中止になったことによる事業費の減額が発生したものの、精算により補助額を減額することで事業内容に見合った支出となっている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・まつり総事業費の10%を同委員会で負担しており、補助要綱に則り妥当であったと判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要であったと判断する。

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	観光誘客プロモーション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ	
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	コロナ禍で落ち込んだ国内外観光客を村内へ誘客を図るため、多言語による観光案内や観光誘客イベント等でのプロモーションを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	53100	44,531	46,307	43,440	45,649
	(b) 予算現額	24354	44,531	46,307	43,368	45,649	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 28,746	0	0	▲ 72	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	24,354	44,531	46,307	43,368	45,649	
	B. 執行済額	23813	43951	45019	41,156	43,334	
	うち交付金充当額	19050	35160	36015	32,924	34,667	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	97.8%	98.7%	97.2%	94.9%	94.9%	
予算の状況の説明	計画的な予算執行に努め、事業を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	多言語観光案内業務の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
	観光イベントでのプロモーション	目標	(国内:2回 国外:2回)	(国内:1回 国外:1回)	(国内:1回)	(国内:1回)	
実績		国内:2回 国外:2回	国内:2回 国外:1回	国内:1回	国内:1回		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・英語・中国語に対応可能なスタッフが、本村の観光名所や飲食店、観光施設等の観光案内を通年を通して実施できた。 ・横浜駅構内イベントにて、本村ブースを設け観光情報の発信をおこなった。 ・メディアプロモーションにおいて、本村で推進しているワーケーションのプロモーションをWebやSNSを中心におこない、コロナ禍でも情報発信ができるよう努めた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	PRブース来場者数	目標	()	()	(1,700人)	(1,700人)	()
		実績				約2,000人	2,485人
	観光案内所利用者数	目標	()	()	(14,000人)	(14,000人)	()
		実績				5,590人	9,689人
進捗状況説明	横浜駅のイベントにて本村の観光情報冊子やノベルティグッズの配布しプロモーション活動をおこない約2500人がPRブースを訪れた。観光案内所について5月後半から9月までの「緊急事態宣言」発令の影響から観光客が減少し目標値には届かなかったが、観光案内所前にて本村事業所を活用したPRイベントを計9回開催し、冊子やノベルティグッズの配布するなど誘客に努め、村内の周遊を促した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響により観光案内所の来場者数が減少した。 コロナ禍で村内観光業や観光施設の影響も厳しい経営状況となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染状況に左右されないようなウェブやSNS等のICTを活用した観光案内のDXの推進を図る必要がある。 村内各所に観光客の長期滞在が見込める、コロナ禍に適したプロモーションの提案をおこなう。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 観光案内ポータルサイトの刷新をおこない、利便性の向上に努める。SNS等の登録者増加を目指し情報発信の促進に取り組む。 ワーケーションを推進して、施設の充実に向けWi-fi設備の設置強化や新たな事業者を開拓し、他地域と差別化したプロモーションに取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



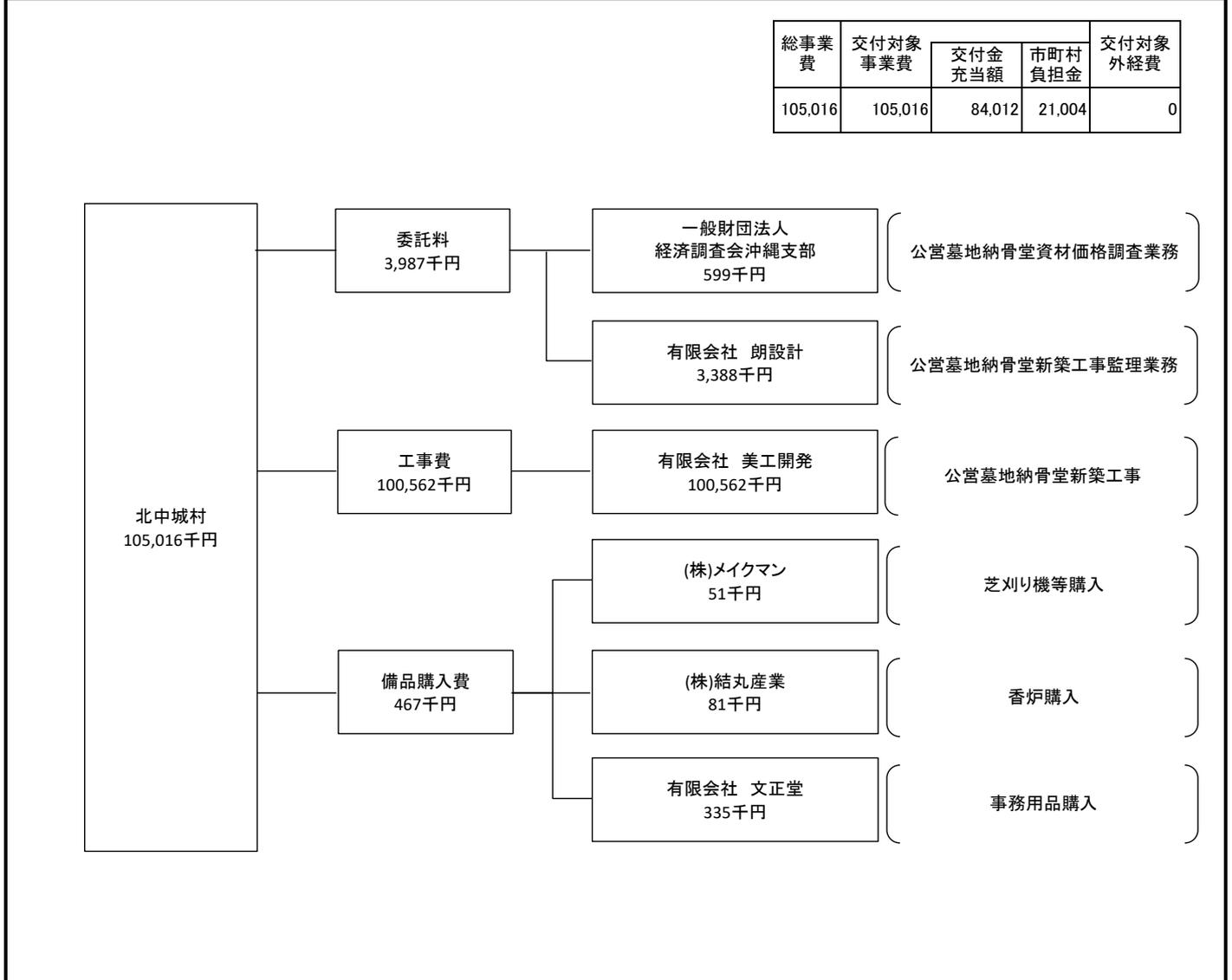
資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者は、村内事業所等との連携が不可欠であり公共性が求められることから、村観光協会が妥当であったと判断する。 不用額が事業費の5.1%であることから、適正な規模であったと考える。 費目・使途については、精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	公営墓地整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア	
担当部課名	住民生活課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり	
事業内容	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な住環境の改善を図るため、公営墓地の整備を実施する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	124,497	-	296,638	-	111,771
		(b)予算現額	205,689	-	234,044	-	105,973
		(c)増減額(b-a)	81,192	-	▲62,594	-	▲5,798
		(d)繰越額	-	141,078	-	109,815	-
		A.計(b+d)	205,689	141,078	234,044	109,815	105,973
	B.執行済額		64,281	141,078	124,185	106,287	105,016
	うち交付金充当額		51,424	112,113	99,348	85,029	84,012
	次年度繰越額		141,078	0	109,815	0	0
	執行率(%) (B/A)		31.3%	100.0%	53.1%	96.8%	99.1%
予算の状況の説明		事業計画通りに執行できた。 工事費については、電気工事等の変更により1,562千円の増額があったものの、予算内に収めることができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	納骨堂の整備	目標	()	()		(納骨堂新築工事の実施)	
		実績				納骨堂新築工事の完了	
達成状況説明		納骨堂及び便所の新築工事を実施した。 現場の状況に合わせて変更設計を行い、期限内に完成できた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	納骨堂整備の完了	目標	()	()	()	(納骨堂整備の完了)	()
		実績				納骨堂整備の完了	
	公営墓地利用世帯	目標	()	()	()	()	(35世帯)
		実績					
進捗状況説明		納骨堂工事については、予定期限内に工事を完了し目標を達成することができた。 利用世帯については、条例の整備や募集準備に時間を要したため、年度内に募集を開始できたものの、利用開始には至らなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事について、当初は分電盤や電話保安器収納盤を建物外壁に配置する設計としていたが、屋外は経年劣化が激しく維持管理上望ましくないことから、地中配線等により外部ボックスをなくす設計に変更した。これにより施設の長寿命化を図ることができた。 墓地散在化の抑制と整理、景観的な住環境の改善を実現するため、供用開始にあたり住民に対して事業目的の周知を行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業箇所は森を切り開いた場所に位置し、虫や湿気の影響を受けやすい。建築工事中に懸念箇所は対策済みであるが、カビや虫害など、長期的な維持管理には留意する必要がある。 村のホームページや広報誌にて、募集案内と共に事業目的の周知を行う。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 維持管理において、カビや虫害を防ぐため、定期的な清掃など対策を行う。 令和4年度の供用開始に向け、住民に対する事業目的の周知や利用推進を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者及び工事請負事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。 予算規模については、事前に見積りを取るなど、内容を確認しており妥当であったと考える。 費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、事業目的に即し適正であったと判断する。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

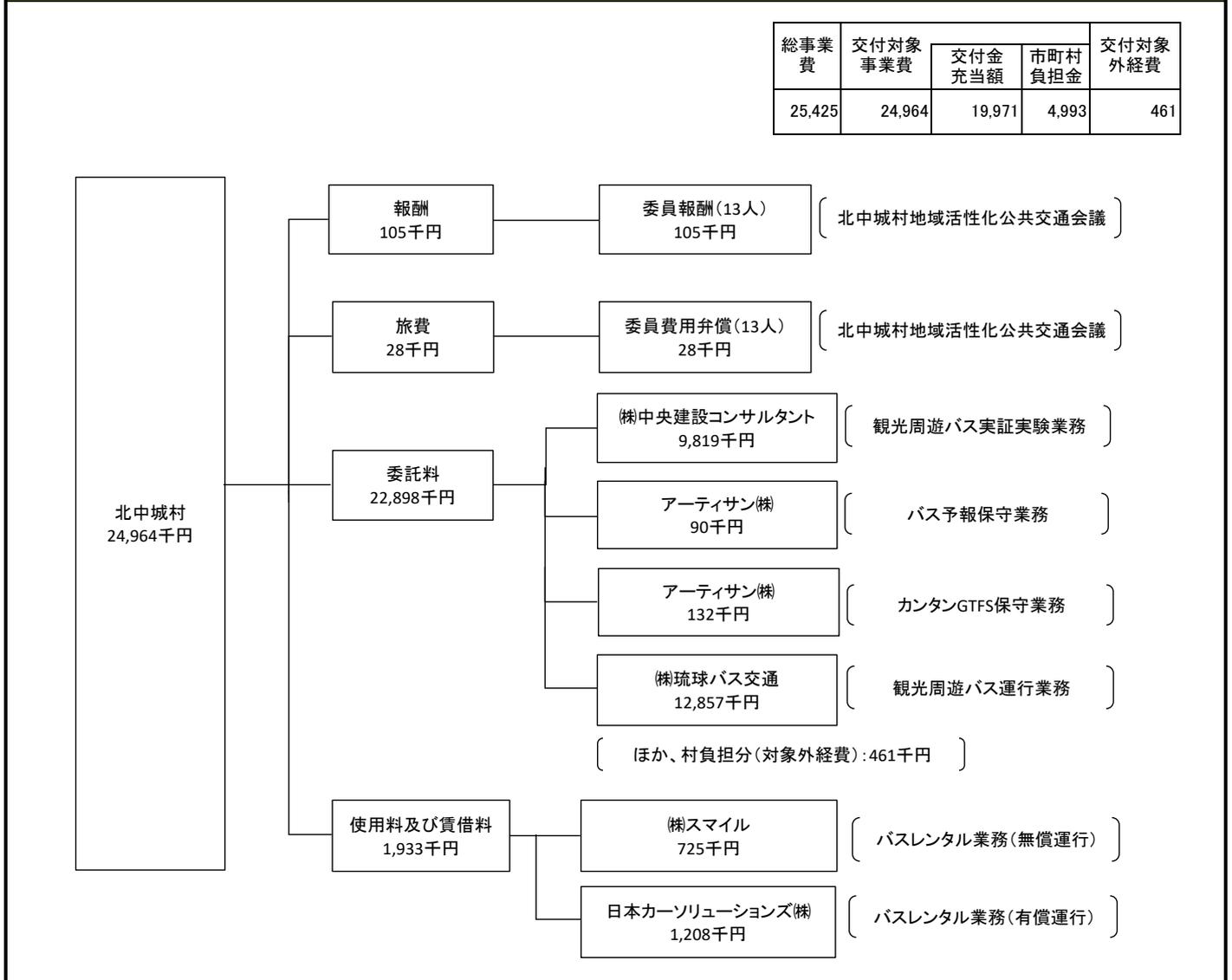
市町村名		北中城村				
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】						
事業番号・事業名	1-⑤	観光周遊バス実証事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容	村内への観光誘客を図るため、大型商業施設と世界遺産中城城跡を結ぶ観光周遊バスによる実証実験を実施する。					
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
		(a) 当初予算額	5,505	17,094	25,589	23,844
	(b) 予算現額	5,301	16,790	29,537	23,844	
	(c) 増減額(b-a)	▲ 204	▲ 304	3,948	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	5,301	16,790	29,537	23,844	
	B. 執行済額	5,253	16,235	29,112	24,964	
	うち交付金充当額	4,202	12,987	23,289	19,971	
	次年度繰越額	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.1%	96.7%	98.6%	104.7%	
予算の状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通会議の委員が増えたことにより、報酬及び費用弁償を30千円増額補正した。 周遊バスの持続可能な運行の検討に必要な経費として、実証実験業務委託料を3,317千円増額補正した。 車両リースに係るリース料金を377千円増額補正した。 					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況				
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	運行日数	目標	()	()	(350日以上)	(350日以上)
		実績			363日	365日
	公共交通会議の開催	目標	()	()	(3回)	(1回)
		実績			2回	3回
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 大きな事故や災害等もなく、計画通り運行日数を達成することができた。 令和3年7月19日より開始した有償運行に係る運行状況及び課題の報告や、課題の改善に向けた運行ルート変更等の検討を行うため、公共交通会議を3回開催した。 					
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
		目標	()	(10,800人)	(22,000人)	(5,000人)
	実績		2,345人	4,712人	6,986人	
	目標	()	()	()	()	()
	実績					
	進捗状況説明	令和3年7月より無償運行から有償運行へ切り替えたが、前年度より利用者数は増加し目標値を上回る結果となった。				

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・新型コロナウイルス感染拡大により、県内入域観光客数は減少傾向にある。特に、緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発令が観光客の利用低下に影響している。	・観光客の利用は減少傾向にあるものの、引き続き、バス位置情報システムや検索エンジンの改善を図り、更なる利便性の向上に取り組むことで、観光客にも利用しやすい環境を維持する必要がある。
	・村広報誌や村HPでの周知等により、一般利用者(地域住民)の利用が増加傾向にある。	・コロナ禍においても、一般利用者(地域住民)の利用者数が増加傾向にあることから、地域住民の周遊バスに対する需要は高い。持続可能なバス運行を図るため、地域住民も利用しやすい運行ルートを検討(ルートの拡大等)する必要がある。
	・今年度より有償運行の実証実験に取り組んでおり、運賃設定を100円として運行を開始したが、有償運行に伴う利用者数の減少は見られなかった。	・運行ルートの拡大を検討する際、運賃設定についても再検討する必要がある。

今後の取り組み方針

- ・引き続き、バス位置情報システムや検索エンジンにより乗車状況を発信することで、利用者の利便性の向上に取り組む。
- ・一般利用者(地域住民)も利用しやすい運行ルートの検討及び実証実験に取り組む。
- ・過年度までに実施した実験結果や見直した運行ルートの運行に係る実験結果等を踏まえ、持続可能な運行ルートや運賃の設定に向けた検討を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託業者や賃貸借業者は、指名競争入札や一般競争入札の手続きを経て選定しており、妥当であったと考える。 ・不用額は、事業費の10%以内であり、適正な規模であったと考える。 ・費目及び使途については、事業完了時に検査を実施しており、目的に即し必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

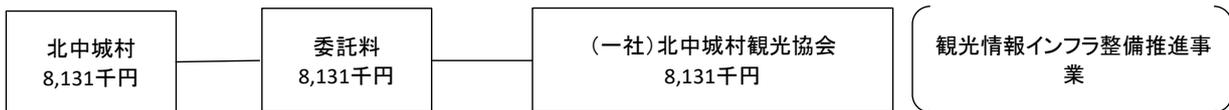
市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑥	観光情報インフラ整備推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成28~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	村内を訪れる観光客の情報収集に係る利便性を高め、観光基盤を強化し、観光誘客を図るため、情報アクセスポイントの運営ならびにデータの分析を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	24,728	9,944	10,129	9,568	10,043
		(b) 予算現額	23,739	9,944	10,129	9,568	10,043
		(c) 増減額(b-a)	▲ 989	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	23,739	9,944	10,129	9,568	10,043
	B. 執行済額		23684	7927	10043	8,760	8,131
	うち交付金充当額		14127	6341	8034	7,008	6,504
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.8%	79.7%	99.2%	91.6%	81.0%
予算の状況の説明		不用額の1,912千円については、委託業務の精算に伴うものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	観光情報アクセスポイントの運営	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績		実施	実施	実施	
	データ取得及び分析	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
実績			未実施	未実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の公共施設や観光施設、飲食店等に設置している公衆無線LANの管理運営を行った。 ・ビッグデータ取得及び分析については、予定通り実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	Free Wi-Fiアクセス数	目標	()	()	(8,500/月)	(8,500/月)	()
		実績			6,525/月	2,300/月	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置や営業時間短縮等の影響により、村内大型商業施設、観光施設、宿泊施設の国内外観光客の利用が減少し、目標値の3割程度にとどまった。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、今後多くの観光客を迎え入れる環境を整備するため、取得したビッグデータからアクセスポイントの設置の見直しや利便性向上についての検証を進める必要がある。</p>	<p>・引き続き、公衆無線LANのアクセスポイントを運営し、SNS等を活用した情報発信の強化、新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた観光客の利便性向上についての検証により観光誘客に努める。</p>

今後の取り組み方針
<p>・引き続き、ポータルサイト、アクセスポイントの利便性向上を図り、村内観光動向の把握と観光サービスの向上に取り組む。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
8,131	8,131	6,504	1,627	



資金の流 れ、 点 検 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、村内観光施設や店舗等との連携が不可欠であり、公共性が求められることから、妥当であると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は、業者見積を踏まえ設定しており、適正な規模であると判断する。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・Wi-Fi設置店等については、回線費を店舗等が負担しており、負担関係は妥当であると判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、精算段階で検査をしており、目的に即し必要なものであると判断する。

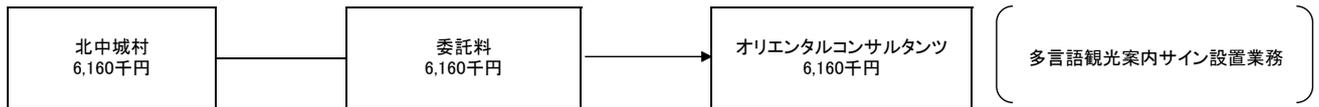
市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	多言語観光案内サイン整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-イ		
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	市場特性に対応した誘客活動の展開 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	新型コロナウイルス収束後を見据え、観光立県沖縄復活を目的に、今後多くの観光客を迎え入れる環境を整備するとともに、国内外から訪れる観光客の利便性向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額		9,374		14,658	6,460
		(b) 予算現額		9,374		13,530	6,460
		(c) 増減額(b-a)		0		▲ 1,128	0
		(d) 繰越額		-		-	-
		A. 計(b+d)		9,374		13,530	6,460
	B. 執行済額			8,856		13,530	6,160
	うち交付金充当額			7,084		10,824	4,928
	次年度繰越額			0		0	0
	執行率(%) (B/A)			94.5%		100.0%	95.4%
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	周辺案内板の設置	目標	(3基)	()	(3基)	(3基)	
		実績	3基		3基	3基	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・設置計画に基づき周辺案内板3基を設置。アフターコロナ後の入域観光客回復を見越し、観光客が多く訪れる施設への設置を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	周辺案内板の設置	目標	()	()	(3基)	(3基)	()
		実績	/		3基	3基	/
			目標	()	()	()	()
			実績	/			/
進捗状況説明	・事業期間内に全ての案内板の設置を完了し、計画通り成果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・平成28年度策定の設置計画をあらためて精査し、観光客の来訪が想定される施設に設置を変更し、より多くの方の目にする場所への設置が完了した。</p>	<p>・観光客等の動線を常に意識し、観光施設への適切な誘導を促進するための観光パンフレットに観光サインや周辺案内板を落とし込み、スムーズに誘導できる工夫が必要。</p>

今後の取り組み方針
<p>・本年度で主要観光施設への周遊促進を図るための観光サインの設置が完了し、今後はアフターコロナにおける落ち込んだ観光需要回復に向けた周遊を促す施策の展開を図る。</p>

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
6,160	6,160	4,928	1,232	0



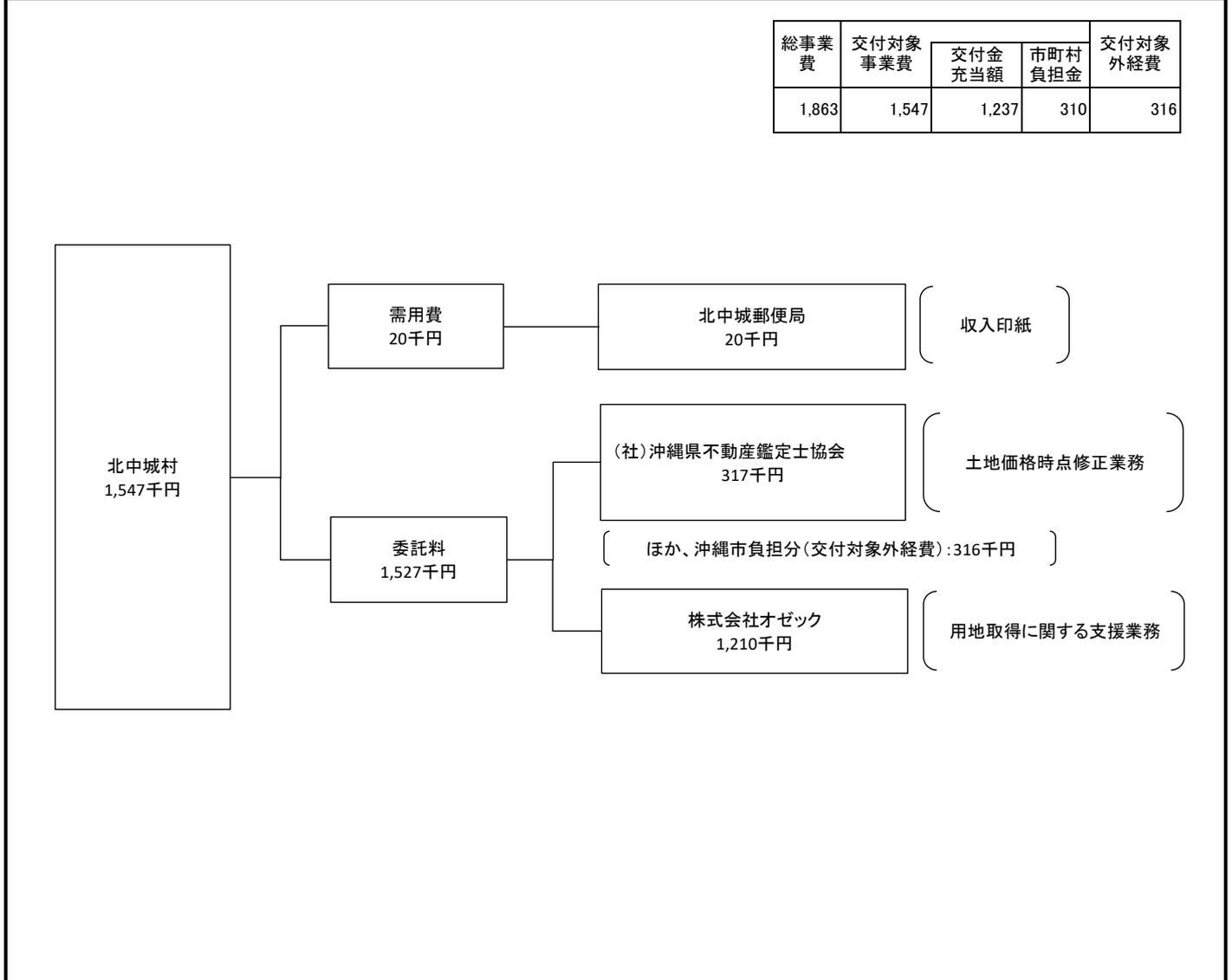
資金の流 れ、 費 目 ・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者は、指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。</p> <p>・不用額が事業費の5%以内であることから、適正な規模であったと考える。</p> <p>・費目や使途については、完了時に検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断する。</p>
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	キャンプ瑞慶覧特定駐留軍用地推進基金事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア	
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組 Ⅲ-8	
事業内容	キャンプ瑞慶覧ロウワープラザ地区の跡地利用を推進するため、これまで積み立てた基金を活用し公有地の先行取得を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,372	2,537	1,710	1,683	2,732
		(b) 予算現額	3,702	653	1,144	1,442	2,732
		(c) 増減額(b-a)	330	▲ 1,884	▲ 566	▲ 241	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	3,702	653	1,144	1,442	2,732
	B. 執行済額		3,701	652	1,143	1,441	1,547
	うち交付金充当額		2,960	521	915	1,153	1,237
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.8%	99.9%	99.9%	56.6%
予算の状況の説明		・公有地の先行取得に向けて申出者を募った結果、想定していた申出数を下回ったことにより、買取交渉等に係る委託料1,155千円、収入印紙代30千円の不用額が生じた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公共用地の取得	目標	(2,679㎡)	(1,206㎡)	(902㎡)	(1,636㎡)	
		実績	1,473㎡	0㎡	900㎡	1,211㎡	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	買取申出期間を6月～7月末まで2ヶ月設け、申出者を募った結果、申出希望が2件あり、買取協議も円滑に進んだことにより、1,211㎡(2筆)の用地取得ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	全体用地取得率:100%	目標	()	(83.6%)	(91.7%)	(100.0%)	()
		実績		83.6%	85.1%	96.1%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	買取申出期間を6月～7月末まで2ヶ月設け、申出者を募った結果、申出希望が2件あった。うち1件は、分筆手続きが必要な土地であったが、地権者に対し、早期の事務手続きを進めるための情報提供や、進捗確認等を適宜実施したことで、買取協議が円滑に進んだことにより、1,211㎡(2筆)の用地取得ができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度が本事業の最終年度であることを、本事業を検討している地権者に対して周知したものの、申出者数は2件となった。 申出者に対して、円滑な事務手続き等の情報提供を適宜行うことで、買取協議を円滑に進めることができたため、申出のあった2筆について、用地を取得することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、令和3年度を最終年度としていたが、取得面積が買取目標に達しなかったことから、令和4年度以降も残り425㎡の用地取得に向けて事業を実施し、円滑な跡地利用を推進する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、令和3年度を最終年度としていたが、取得面積が買取目標に達しなかったことから、令和4年度以降も残り425㎡の用地取得に向けて事業を実施し、本事業の活用を検討している地権者への周知強化に取り組む。 年内での所有権移転登記を完了するため、関係機関(沖縄防衛局、国税事務所)との協議を早期から取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・土地鑑定評価業務は、沖縄市と調整し、本業務の仕様に対応できる要件等を有した事業者を選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・用地取得支援業務については、指名競争入札により事業者を選定しており妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・不用額は事業費の5%以内であり適正であると判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であると判断する。

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	キャンプ瑞慶覧返還地区等跡地利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア		
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組		
事業内容	キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区の跡地利用を推進するため、跡地利用計画(素案)の見直しを行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R4年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,706				
		(b) 予算現額	2,706				
		(c) 増減額 (b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計 (b+d)	2,706					
	B. 執行済額	2,706					
	うち交付金充当額	2,164					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	事業計画どおりに執行を行った。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	跡地利用計画(素案)の見直しに向けた検討		目標	()	()	()	(実施)
			実績				実施
			目標	()	()	()	()
			実績				
達成状況説明	平成23年度までに策定した跡地利用計画(素案4案)の見直しに向け、跡地利用検討区域(キャンプ瑞慶覧ロウワー・プラザ住宅地区及びサウスプラザ地区)におけ土地利用の課題及び対応方針の検討を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	跡地利用計画(素案)の検討に係る調査報告書の作成		目標	()	()	(作成)	()
			実績			作成	
	【成果目標】跡地利用計画(素案)に対する地権者や村民等へのアンケート調査により本事業の在り方を検証する		目標	()	()	()	(肯定的な評価)
			実績				80%以上
	進捗状況説明	本地区で想定している土地区画整理事業(組合施行)円滑な実施を支援するため、必要な諸条件や課題等の整理を行い、課題解決に向けた対応方針を検討することで、跡地利用計画(素案)の検討に向けた調査報告書を作成することができた。					

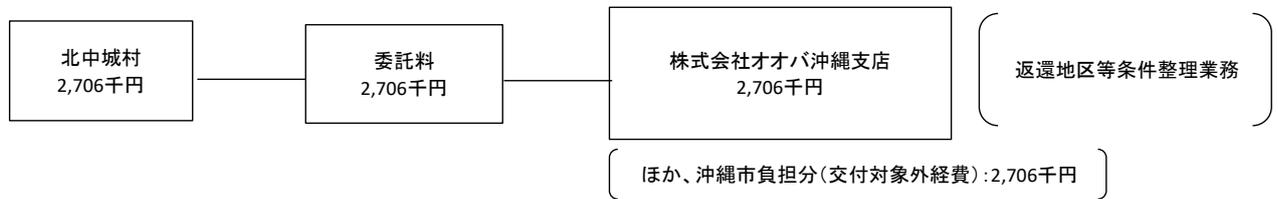
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・計画地は沖縄市と北中城村の行政界を跨いでいることに加え、広域都市計画区域が異なることから、関係機関との調整や合意形成等に多大な時間を要することが懸念される。また、本地区の返還予定区域において、既存の米軍施設への進入路(アップラザへの米軍進入路)は返還区域に含まれていないことが判明したため、土地利用検討の制約となっている。</p>	<p>・広域都市計画区域が異なる土地区画整理事業について、手続きや合意形成に時間を要することから、沖縄県と密に調整を図る必要がある。返還区域に含まれていない米軍施設進入路の取扱いについては、本進入路の返還の可能性や代替ルートの提案など、沖縄防衛局を通じた米側との調整を図る必要がある。</p>

今後の取り組み方針

・今年度調査により整理した本地区の課題(行政界を跨ぎ、都市計画区域が異なる土地利用・返還区域に含まれていない米軍施設進入路の取扱い等)に対する対応について、関係機関(沖縄県、沖縄防衛局)と意見交換を行い、跡地利用計画(素案)の見直しに向けて取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
5,412	2,706	2,164	542	2,706



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・沖縄市と調整し、本業務の仕様に対応できる要件等を有した事業者を選定しており妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・本業務は、指名型プロポーザル方式により事業者を選定しており妥当である。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・不用額は事業費の5%以内であり適正であると判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であると判断する。

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	喜舎場ハウジング地区跡地利用推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア		
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	早期の事業着手に向けた取組		
事業内容	キャンプ瑞慶覧喜舎場ハウジング地区の跡地利用を推進するため、跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討および地権者意向調査を実施する。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度(R4年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,923				
		(b) 予算現額	3,696				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,227				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	3,696				
	B. 執行済額		3,673				
	うち交付金充当額		2,938				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.4%				
予算の状況の説明		過年度の類似業務の見積書を基に事業費を試算していたが、本業務の実施にあたり改めて事業費を精査したところ費用を圧縮することができたことから、委託料3,227千円を減額補正した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	跡地に発生する空地部分の有効活用策の検討	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
	地権者の意向調査の実施	目標	()	()	()	(実施)	
		実績				実施	
達成状況説明	返還跡地の有効活用案について、本村の発展に寄与するまちづくりの視点から検討を行うとともに、跡地利用の実現に向け地権者意向調査として、地権者説明会やアンケート調査を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)
	跡地に発生する空地部分の有効活用策の作成	目標	()	()	()	(作成)	()
		実績				作成	
	地権者意向調査の整理	目標	()	()	()	(整理)	()
		実績				完了	
	【成果目標】跡地利用検討に対する地権者や村民等へのアンケート調査の実施により本事業の在り方を検証する。	目標	()	()	()	()	(肯定的な評価)
実績						80%以上	
進捗状況説明	返還跡地の土地利用について、過年度までの検討状況の整理や類似事例調査を実施し、跡地利用におけるコンセプトの検討を行った。地権者説明会やアンケート調査を実施したのち、本地区の今後の方針や取り組み、地権者アンケートの周知のため、地権者64名に対して、これらの様子や結果をまとめたまちづくりニュースを配布した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・本地区の跡地利用においては、周辺の交通渋滞緩和や本村の地域活性化を図るため、過年度までに喜舎場スマートICのフルインターチェンジ化に向けた取組みが進められてきた。フルインターチェンジ化に向けて、日米合同委員会で合意された統合計画で示された返還予定区域を変更するため関係機関との調整を進めてきたが、返還予定区域の変更について現時点では実現性が不透明な状況にある。</p>	<p>・返還区域の変更については沖縄防衛局を通して米側との調整が必須であるため、今後も返還区域の見直しについて、沖縄防衛局と継続的に意見交換を行う必要がある。また、返還予定区域の変更が困難な場合も想定した跡地利用の検討も同時並行で進めていく必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・過年度までに計画しているフルインターチェンジ化の実現に向けて、今後も沖縄防衛局と継続的に意見交換を行う。また、返還予定区域の見直しが困難な場合も想定し、統合計画で示された返還予定区域における土地利用計画の検討を行う。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)					
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
	3,673	3,673	2,938	735	0
<pre> graph LR A[北中城村 3,673千円] --> B[委託料 3,673千円] B --> C[玉野総合コンサルタント株式会社 沖縄支店 3,673千円] subgraph D [] C end style D stroke-dasharray: 5 5 </pre>					

資金の流 点検 評価 費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・本業務は、指名競争入札により事業者を選定しており妥当である。</p> <p>・不用額は事業費の5%以内であり適正であると判断する。</p> <p>・費目・使途については、精算段階で検査を実施しており、目的に即し必要であると判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

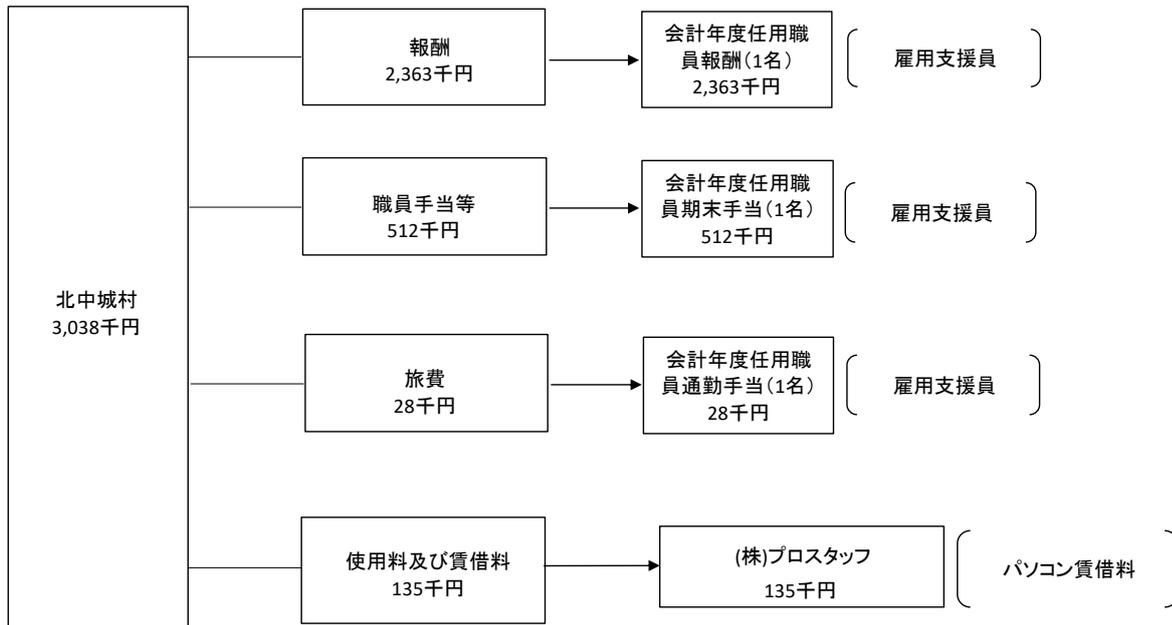
市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	雇用サポートセンター事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-ア	
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	雇用機会の創出・拡大と求職者支援 III-2		
事業内容	雇用機会の創出を図るため、地域に密着した就業支援による雇用サポートセンターを設置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,012	4,135	2,540	2,918	3,083
		(b) 予算現額	4,214	2,540	2,540	2,888	3,083
		(c) 増減額(b-a)	▲ 798	▲ 1,595	0	▲ 30	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	4,214	2,540	2,540	2,888	3,083
	B. 執行済額		4,099	2,497	2,497	2,859	3,038
	うち交付金充当額		3,279	1,997	1,997	2,286	2,430
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		97.3%	98.3%	98.3%	99.0%	98.5%
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	登録企業の開拓	目標	(50件)	(50件)	(50件)	(50件)	
		実績	25件	19件	15件	17件	
	求職者の個別支援	目標	(40件)	(40件)	(40件)	(40件)	
		実績	38件	30件	12件	10件	
	新型コロナウイルス感染症による失業者等への支援	目標	()	()	()	(30件)	
実績					27件		
達成状況説明	・登録企業の開拓については、ハローワークとの情報共有等により取り組んだが、まん延防止等重点措置の期間延長など直接企業へ訪問することが困難であり、17件の登録にとどまった。 ・求職者の個別支援として、電話や窓口での相談件数は139件あったが、履歴書・職務経歴書の記入指導、面接対策等については、若年者や高齢者に対し、10件にとどまった。 ・新型コロナウイルス感染症による失業者等への支援については27件で概ね達成した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	就業率	目標	()	(15人)	(11人)	(5%以上)	()
		実績	/	7人	7人	1.4%	/
		目標	()	()	()	()	()
		実績	/				/
進捗状況説明	・求職者からの相談件数は139件あったが、最終的なマッチングは10人中2人の就職内定で就業率は1.4%にとどまった。新型コロナウイルス感染症の影響による企業の求人減少や新規登録企業開拓の減少がマッチング数に影響していると考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響による企業の求人数の減少が長期化していると考えられる。 引き続き、求職者が希望に近い求人を選択できるよう登録企業の開拓を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業等に対し、行政側の雇用者支援策等の周知を強化し、雇用促進に取り組む必要がある。 引き続き、マッチング率向上のため幅広く企業開拓を推進し、村広報誌へも求人情報を掲載し、求職者への周知を強化する。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、ハローワーク等との情報共有や企業訪問等により、幅広く企業開拓に取り組む。 企業に対して行政の雇用支援策等の周知に努め、求職者の雇用促進を図り、村内求人情報を広報誌などで周知することで、マッチング率向上に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,038	3,038	2,430	608	0



資金の流 れ、 検 査 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 支出先の選定は、関係規則等に基づき行っており、妥当であるとする。 不用額は事業費の5%以内であり適正であると判断する。 費目、用途については、雇用サポート業務に精通した人員を配置しており、目的に即し必要だと判断する。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	ゲッジョブ連携推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(10)-イ		
	担当部署名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成27~令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の雇用促進	
事業内容	児童生徒の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、出前フォーラム等を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	18,998	18,642	21,712	21,636	22,482
		(b) 予算現額	18,998	18,642	21,712	21,636	22,482
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	18,998	18,642	21,712	21,636	22,482
	B. 執行済額		18,998	18,642	21,377	21,636	22,482
	うち交付金充当額		15,198	14,913	17,102	17,308	17,985
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.5%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	ジョブシャドウイングの実施	目標	(3校)	(3校)	(2校)	(2校)	
		実績	3校	3校	1校	2校	
	職場体験の実施(中学校)	目標	(1校)	(1校)	(1校)	(1校)	
		実績	1校	1校	0校	1校	
	キッズJOBクラブの実施	目標	()	()	(実施)	(実施)	
		実績			実施	実施	
	出前フォーラムの開催	目標	(1校)	(1校)	(1校)	(1校)	
		実績	1校	1校	1校	1校	
追跡調査の実施(高校)	目標	()	()	(実施)	(実施)		
	実績			実施	実施		
キャリア教育講演会の開催	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)		
	実績	実施	実施	実施	実施		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校2校を対象としたジョブシャドウイング、中学校を対象とした職場体験については、新型コロナウイルス感染症によるまん延防止等重点措置により実施していないが、代替案としてオンラインでの企業見学、講話を行った。 ・キッズJOBクラブは、小学5年生を対象に実施した。 ・出前フォーラムについて、村内県立高校を対象に予定通り実施した。 ・追跡調査について、高校3年生の村内中学校卒業生を対象にアンケート及びヒアリング調査を実施した。(対象者198人、回答者142人、ヒアリング調査11人) ・キャリア教育講演会について、保護者、PTA、学校関係者を対象にオンラインで開催した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	就業に対する意識が向上したか(80%以上)を含め、アンケート調査により本事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績			92%	90%	88%
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業対象の小中高校生に対しアンケートを実施した結果、「就業に対する意識が向上した」と回答した生徒が88%となり、成果目標を達成することができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響で、日程変更した場合、受け入れできない事業所が複数あるため、生徒が希望する職種を提供できるよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、映像教材やリモートシステム等の活用により、学びの場を提供できるようにする。 引き続き、児童生徒に対するきめ細かい支援を行うため、希望する職業の協力企業開拓を進める。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、これまで培ってきた協力体制を維持し、本事業の継続実施に向け取り組む。 引き続き、児童生徒の就業意識の向上に努めることで、職業観や勤労観の育成に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,482	22,482	17,985	4,497	



資金の流 れ、 費 目 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 委託事業者は、実情や知識等を勘案したもので、適正であったと判断する。 予算規模は、業者見積を踏まえ設定しており、適正な規模であると判断する。 費目、用途については、精算時に検査しており、目的に即し必要であったと判断する。
	○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	営農支援強化事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24~令3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	専門性の高い営農指導員の指導による生産から販売までの総合的な営農支援を農業者に行うとともに、安定した農業経営に必要なパイプハウス整備支援を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,164	4,414	4,414	5,120	11,988
		(b) 予算現額	4,414	9,574	11,726	10,937	4,895
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,750	5,160	7,312	5,817	▲ 7,093
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計 (b+d)	4,414	9,574	11,726	10,937	4,895
		B. 執行済額	4,414	8,974	11,726	10,471	4,894
		うち交付金充当額	3,530	7,178	9,380	8,377	3,914
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	93.7%	100.0%	95.7%	100.0%
予算の状況の説明		・7,093千円の減額については、パイプハウス整備補助の事業実施の見送り、計画変更によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	営農指導員の配置	目標	(2名)	(2名)	(2名)	(2名)	
		実績	2名	2名	2名	2名	
	パイプハウス施設の整備補助	目標	()	(2基)	(2基)	()	
		実績		2基	2基		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の予定通り、農業に関する専門知識を持った者を指導員として配置することができた。 ・パイプハウス整備補助については、設置の補助要件である推奨品目と合致しなかったため事業の実施を見送った。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	指導した農家の年間出荷額	目標	()	(3,790千円)	(4,006千円)	(3,814千円)	()
		実績		3,415千円	3,460千円	5,639千円	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・指導した農家の年間出荷額目標額について、コロナ過で需要が低下するなか、給食センターなどへの安定供給に努めたことで、目標値を着実に達成することができた。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・各種生産品目については、強化品目の選定・生産推奨や、生産者に対する農業適正使用の指導により、学校給食等への出荷量は安定している。 ・大型商業施設への出荷については、安定した品質および生産量の確保が目下の課題となっている。 ・パイプハウス整備について、補助先となるJAおきなわや整備補助希望者と設置に向けた調整を進めていたが、生産者の予定する作物が村の推奨品目と合致しなかったため実施を見送り、交付金計画の変更に至った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・農作物のさらなる品質向上、若手生産者及び村内主力経営体の生産量の増加を図るため、営農指導員による経営指導支援を継続して行う必要がある。 ・今後の安定した生産量の確保につなげるため、意欲ある農業者に対しパイプハウス整備の支援を行い、営農に関する環境整備の支援に取り組む必要がある。

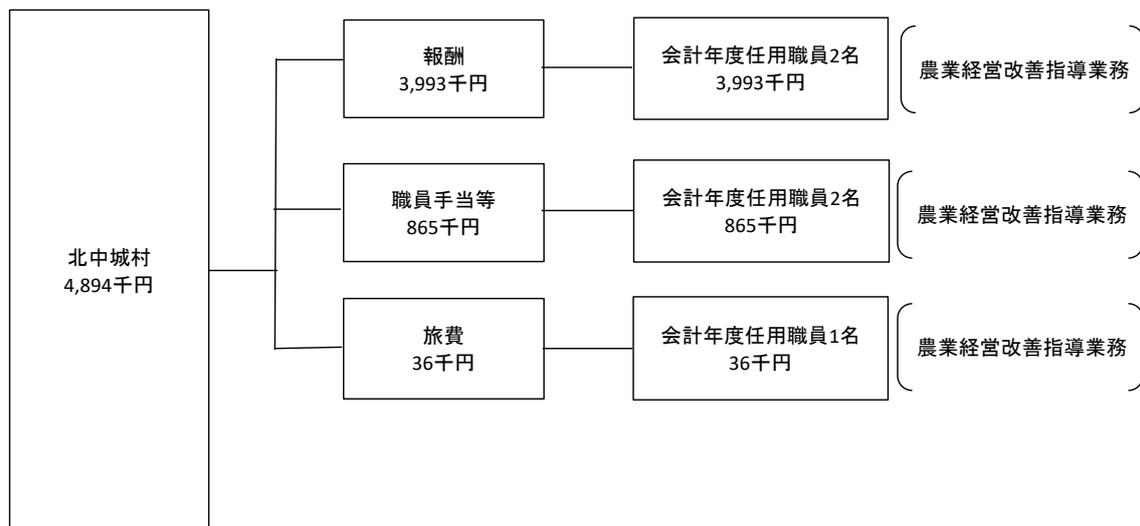
今後の取り組み方針

・引き続き、営農指導員による支援・指導を行うことで、農業者の生産技術の向上を図り、安定した農産物等の販売による農業経営の支援に取り組む。また、長引くコロナ禍の影響による消費の低迷等により農家の所得減少が懸念されるため、営農指導員を通して情報収集に努める。

・パイプハウス整備を希望する生産者への支援を引き続き実施する。また、事業を進めるにあたっては、JAおきなわと連携を密にし、希望する生産者側と補助要綱等の要件に沿ったマッチングに早い段階から取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
4,894	4,894	3,914	980	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価 費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・指導員は、面接を経て資格や経験、業務に対する意欲がある者を採用しており、妥当であると判断する。 ・費目・使途については、農業に精通した人員を配置しており、目的に即し必要であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	地域ブランド構築事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(9)-イ	
担当部課名	企画振興課		事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	県産品の販路拡大と地域ブランドの形成	
事業内容	本村の第一次産業を活性化させるため、アーサーに続く特産品を見出すことで定番商品化を推進し、村内事業者と連携した販路拡大に取り組むことで、北中城ブランドとしての価値を高める。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	5188	4,092	5,240	4,504	5,626
	(b) 予算現額	5214	4,102	5,240	4,498	5,626	
	(c) 増減額(b-a)	26	10	0	▲6	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	5,214	4,102	5,240	4,498	5,626	
	B. 執行済額	5191	4101	5200	4,498	5,489	
	うち交付金充当額	4153	3280	4159	3,598	4,391	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.6%	100.0%	99.2%	100.0%	97.6%	
予算の状況の説明	不要額の137千円は、県外イベントでのプロモーションを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったため。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	開発した特産品取扱店の維持・開拓	目標	(維持・開拓)	(維持・開拓)	(維持・開拓)	(維持・開拓)	
		実績	8店舗の維持・開拓	9店舗の維持・開拓	4店舗の維持・開拓	8店舗の維持・開拓	
	北中城村特産品の調査の実施	目標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
実績			実施	実施	実施		
達成状況説明	村内外の事業所やホテルで開発されたパッションフルーツの商品を新聞、ラジオ、Web等のメディアでプロモーションをお行つた。中部農業改良普及センターの協力のもと生果の育成から加工までの販路の開拓を行い、農家と一次加工製造所との販売支援を行って自走を促した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
	パッションフルーツピューレの製造	目標	()	()	()	(200袋)	()
		実績				116袋	
		目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	生果の発育が早く収穫時期が予定よりも大幅に早まり、一次加工製造所の整備の遅れもあったため、生果の納品数が予定より減少し目標値が下回った。						

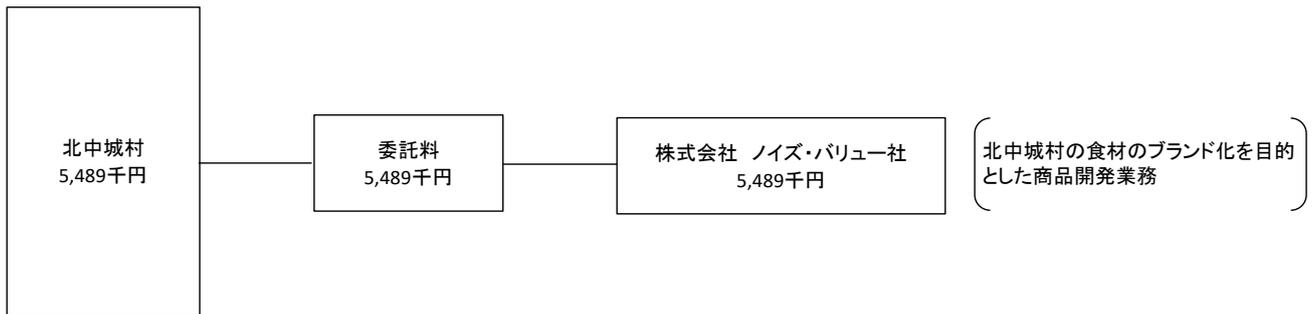
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・納品生果の品質にばらつきがあり安定した量のピューレ生産が難しく、村内生果生産農家が少ないため安定した量の生果の納品ができない。 ・ピューレ使用商品のPRが多く、A品、B品等贈答用のPRが少なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一次加工製造所への販路を開拓し出荷先を確保して、農家の収入を安定させることで生産意欲を向上させ、農家数の増加や生果の育成技術の向上に繋げる。 ・贈答品のPRをおこない、生果の他地域との差別化を図る促進方法を検討する。

今後の取り組み方針

今後一次加工の民間移行実施へ向けた調整窓口として取り組む。
 村特有の化粧箱や特産品シール作成などをおこない、村内農家が出荷する贈答品を他地域との差別化を図れるようなPRをおこなう。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
5,489	5,489	4,391	1,098	0



資金の流 れ、 費目 ・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・委託事業者は、プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと判断する。 ・不用額が事業費の5%以内であることから、適正な規模であったと考える。 ・費目・用途については、精算時に検査を実施しており、目的に即し、必要であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成30～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	フロンティア型農林水産業の振興 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	耕作放棄地の再生に向けて、循環型農業ゾーンと体験農園施設ゾーンを整備するため、民間事業者が継続して営農するための収支見通しの策定を行うとともに、民間事業者の誘致を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R5年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,887	10,544	11,216	11,993	
		(b)予算現額	9,887	10,544	11,216	11,993	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	
		(d)繰越額	-	-	-	-	
		A.計(b+d)	9,887	10,544	11,215	11,993	
	B.執行済額		9,785	10,538	11,187	11,836	
	うち交付金充当額		7,827	8,430	8,949	9,468	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		99.0%	99.9%	99.8%	98.7%	
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	エリアマネジメント組織の設立に向けた事業者・地域・関係者等との協定の締結	目標	()	(事業化計画の策定)	(策定)	(協定書締結)	
		実績		事業化計画の策定	策定	未締結	
	第二段階整備民間事業者誘致及び実施地の確保	目標	()	()	(誘致)	(事業者の誘致・実施地の確保)	
実績				誘致	事業者の誘致・実施地の確保		
達成状況説明	・事業予定区域の2自治会及び第一段階整備事業者(1社)との調整を進め、協定書(案)について合意形成を図ったものの、協定締結には至らなかった。 ・第二段階整備(体験・観光型農園、農産物直売所、農家レストランなど)を実施する民間事業者の公募を図り、第二段階実施事業者を1社誘致することができた。また、実施地についても地権者との事前調整により概ね同意を得ることができ、事業実施に係る用地の確保が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R5年度)
	地域協定書の締結	目標	()			(締結)	()
		実績				合意形成	
	【R5成果目標】耕作放棄地の利活用	目標	()	()	()	()	(3,110㎡)
		実績					
進捗状況説明	・第一段階実施事業者及び関係自治会と地域協定の締結に向けて調整を進めていたが、調整を進めていく中で、第二段階整備区域も含めて協定を締結することが効果的に事業推進が図られるとの意見等があったことから地域協定の締結は見送ることとなった。						

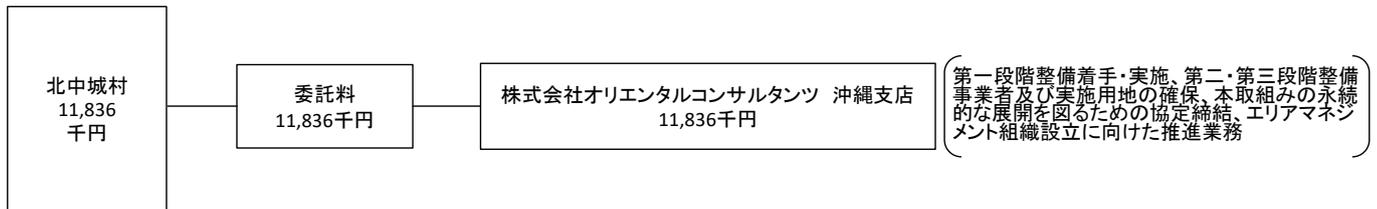
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 第一、第二段階整備区域における実施事業者が同一事業者となったことを受けて、地域協定の締結に係る区域を含めた地域協定書の締結がより効果的であると、関係者間で合意形成が図られたことから、協定の締結内容を精査する必要がある。 協定締結には事業予定区域の地域住民への周知を図り、将来的なエアーマネジメントを牽引する組織組成に向けた機運醸成を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域協定の内容について、第二段階整備区域も含めた協定内容を作成し、具体性のある取り組みを推進する。 地権者や地域住民へ本事業内容の必要性や取組を周知し、取組内容を理解してもらい、本事業へ取り組んでいく必要がある。

今後の取り組み方針

- 第一、第二段階整備区域のエアーマネジメント組織の設立に向けた地域連携協定の締結を図るとともに、地権者や地域住民への取り組み周知を行う。
- 第三段階整備実現(医療・福祉施設)に向けて、民間企業誘致を行い、事業者選定を行う。
- 地権者調整・法的規制等に関する調整を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
11,836	11,836	9,468	2,368	0



資金の流 点検 評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、公募型プロポーザル方式で選定しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用額が事業費の5%以内であることから、予算規模は適正であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費用・用途は、事業内容を勘案して適切かつ事業目的に即し真に必要なものであったとの確認を業務完了時の検査において精査しており、妥当なものであったと判断した。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-①	総合英会話指導支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、社会情勢に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	生きた英語に触れることで、児童生徒の英会話への興味・関心を高めるため、村立小中学校に英会話指導員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,938	7,938	7,275	9,182	9,110
		(b) 予算現額	6,347	6,367	5,222	8,053	7,479
		(c) 増減額(b-a)	▲1,591	▲1,571	▲2,053	▲1,129	▲1,631
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	6,347	6,367	5,222	8,053	7,479
	B. 執行済額		6,248	6,360	5,222	8,053	6,624
	うち交付金充当額		4,998	5,088	4,177	6,442	5,928
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.4%	99.9%	100.0%	100.0%	88.6%
予算の状況の説明		855千円の不用額は夏休み等の長期休業中の勤務実績分を補助対象外としたことや勤務実績によるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	英会話指導員の配置 (小学校:1人、中学校:1人、幼小兼務:1人)		目標 (3人)	(3人)	(3人)	(3人)	
			実績 3人	3人	3人	3人	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	年度当初には、小中学校すべてに指導員を配置でき、円滑に事業を実施することができたが、年度途中から1人休職となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	英語検定の受検者数		目標 ()	(543人)	(602人)	(516人)	()
			実績	420人	204人	224人	
			目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により受検者数が大幅に減少した昨年度から若干数増加したが、英語検定受検者数が目標値の43.4%となり、目標を達成することができなかった。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 継続的にネイティブスピーカーによる生きた英語を体験することで、英語の授業が楽しいと感じる生徒が中学生においては昨年度と同様に全員(100%)となり、英語への興味関心の高さは維持されている。しかし、英語検定に関する周知が不十分であったため、全生徒の約4割しか受検しなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、英語担当教諭と英会話指導員が、指導方法等についての意見交換や情報交換を行い、個々の指導力の向上を図り、英語に対する興味・関心が更に高まるよう努める。加えて多くの児童生徒へ英語検定・英検Jrの周知強化を図ることで、英検等受検を促進する。 小学校においては、5・6年生は教科としての外国語、3・4年生は外国語に慣れ親しみ外国の生活や文化に触れる機会を与える外国語活動と英会話を関連付けながら興味関心を惹きつける授業展開や英語に親しませる授業により、更に興味・関心の向上に努める。
	<ul style="list-style-type: none"> 小学生では、英語の授業が楽しいと感じる児童は95.5%となっており、昨年度の97.2%より若干減っている。また、昨年度に比べて英語が好きになったと思う児童は94.9%となっており、昨年度の95.5%から若干減っているが着実に興味関心は高まってきている。しかし、今年度も英語検定Jrの受検者が0人であったことから、案内・周知が不十分である。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 小学校、中学校ともに、ALTとの授業を受ける事で99%の児童生徒が英語に関する意欲が高まっている。 	

今後の取り組み方針

- 小学校では、ALTとの交流を通して、児童の発達段階にふさわしい歌・ゲーム・簡単な挨拶やスキット、音声を使った体験的な活動等を行い、高学年ではコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- 中学校においては、コミュニケーション活動を重視したALTとのチームティーチングやグループワーク等の指導形態及び指導方法の工夫・改善を積極的に行い、英語による実践的コミュニケーション能力の育成を図る。
- 国際化社会における英語の重要性と必要性を理解させ、英語検定、英検Jrについての案内・周知の徹底を図りながら、受検機会の創出に取り組む。
- 幼小中学校の学びの連続性を踏まえて、村イングリッシュコンテストに向けてALTを積極的に関わらせる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
			交付金充当額	市町村負担金	
	9,273	6,624	5,298	1,326	2,649


```

graph LR
    A[北中城村 6,624千円] --> B[報酬 5,216千円]
    A --> C[職員手当 1,305千円]
    A --> D[旅費 103千円]
    B --- B1["(英会話指導員(北中城小学校・島袋小学校兼幼稚園・北中城中学校 各1名))"]
    B --- B2["(ほか、夏休み等に係る対象外経費:2,233千円)"]
    C --- C1["(英会話指導員(北中城小学校・島袋小学校兼幼稚園・北中城中学校 各1名))"]
    C --- C2["(ほか、夏休み等に係る対象外経費:416千円)"]
    D --- D1["(英会話指導員(北中城小学校・島袋小学校兼幼稚園・北中城中学校 各1名))"]
  
```

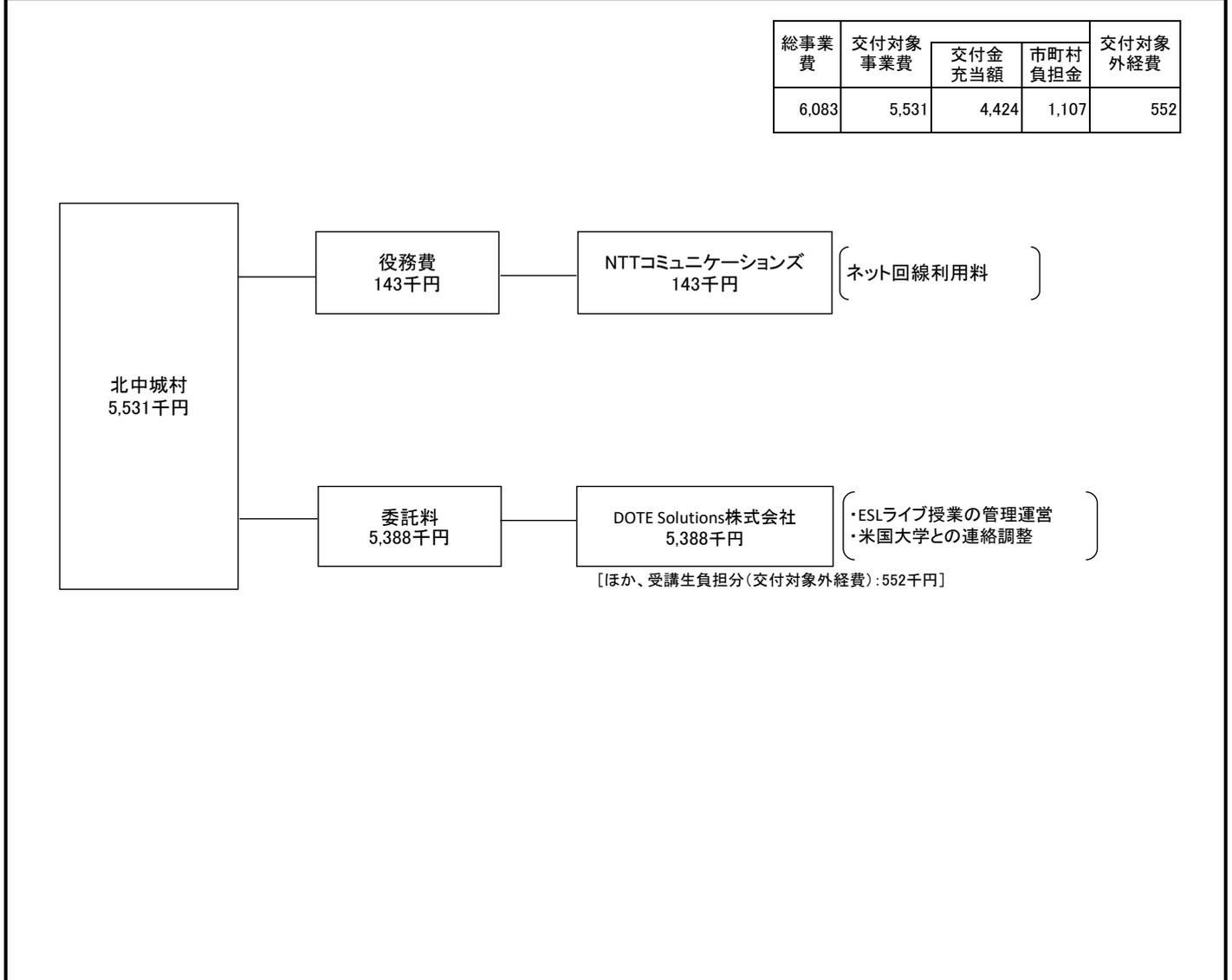
資金の流 れ、 検 査 費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> 指導員は英語を母国語とする外国人を積極的に採用し、面談や学校への聞き取りを通して指導力等を判断しているため妥当であるとする。 予算規模については、村規則等に基づき積算しており妥当であったと考える。 費用・使途は事業目的に即したものであり適切であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②	アメリカ教育機関ネットワーク形成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	生涯学習課		事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、社会情勢に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)
事業内容	国際社会で対応できる人材を育成するため、米国教育機関とのWEBシステムによる集中講座を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	5,422	5,422	5,634	5,529	5,529
	(b) 予算現額	5,514	5,719	6,031	5,762	5,529	
	(c) 増減額(b-a)	92	297	397	233	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	5,514	5,719	6,031	5,762	5,529	
	B. 執行済額	5,474	5,694	6,244	5,620	5,531	
	うち交付金充当額	4,379	4,555	4,695	4,495	4,424	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	99.6%	103.5%	97.5%	100.0%	
予算の状況の説明	・新型コロナウイルス感染症対策により、講座をオンライン開催とし、計画的な予算執行に努め業務を遂行した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	中学生クラス:講座64回 (前期32回・後期32回)	目標	(64回)	(64回)	(64回)	(64回)	
		実績	64回	64回	64回	64回	
	小学生クラス:講座64回 (前期32回・後期32回)	目標	(64回)	(64回)	(64回)	(64回)	
		実績	64回	64回	64回	64回	
達成状況説明	・小学生クラス、中学生クラスともに新型コロナウイルス対策を取ることで、計画通りに講義が開催され、活動目標を達成することができた。 ・児童生徒の英語力が向上するとともに、授業での積極性や自身で考えて意見を述べる力なども養われており、本村の国際性に富む人材育成へ向け児童生徒自身の意識を高めることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)	
		目標	()	(前期:全生徒 後期:全生徒)	(前期:全生徒 後期:全生徒)	(前期:全生徒 後期:全生徒)	()
	定期テストにおける英語習熟度:講座を受けた生徒全員80点以上	実績		前期:21名中7名 後期:23名中19名	前期:22名中20名 後期:23名中19名	前期:24名中14名 後期:22名中16名	
	目標	()	()	()	()	()	
	実績						
	進捗状況説明	前期については目標達成した生徒は14名となっているが、6名の生徒が70点台と目標達成にわずか届かなかった。後期については目標達成した生徒は16名となっており、4名の生徒が70点台と目標達成にわずかに届かなかった。遅れが見られる受講者に対する講座後のフォローアップに努めているが、例年に比べ習熟度が低下している。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生クラスにおいて、中学3年生の高校受験準備のため休講する生徒が多く出席率低下の要因となった。 ・部活動や個人的理由により講座に参加できない生徒があり、講義の遅れをとっている生徒がいる。 ・各家庭でのオンラインによる講義を行ったことで、コロナ禍においても安定的な講義の実施と受講生の出席率を確保することができた。(Bクラス出席率80%以上) ・達成度テストの目標が達成できていない生徒の苦手とする部分を確認し、その課題に沿ったアプローチを行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語検定やその他英語教材を提供/宿題にすることやライティングのサポートを実施し、出席率の改善を行う。 ・出席率が事業目標の一つである得点率に影響しているため、受講生の募集段階において、本事業の目的について学校やホームページ等を通じて周知強化を図ることで、出席率の改善に取り組む必要がある。 ・新型コロナの収束を見通すことが困難な状況にあり、引き続き各家庭でのオンライン受講に取り組む必要がある。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内の習熟度格差を縮めるため、英語力が低い生徒に対しては個別で学習サポート実施を検討する。 ・レベルの高い生徒については、難易度の高い課題を与え、英語学習に対する意欲の向上に取り組む。 ・新規受講者や低学年の生徒については、ライティングのサポートを実施することで、更なるレベルアップに取り組む。 ・受講生募集時に、本事業の目的や取組内容について、生徒や保護者に十分理解してもらえるよう、学校やホームページ等を通して周知強化に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者については、米国大学との交渉、契約等を県内で行える唯一の事業者であることから妥当といえる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模は事業者より見積もりを取っており適正である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受講生からは受講料を徴収しており、受益者との負担関係は妥当である。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、用途については、大学へ支払う受講料、人件費、米国との交渉等に係る費用として必要である。

市町村名		北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	6-①	琉球歴史風致資産調査事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)		
事業内容	村内の「歴史風致資産」に関する調査成果のとりまとめを行い、本村独自の歴史を情報発信する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
		(a) 当初予算額	8,881	8,835	8,829	7,453	12,153	
	(b) 予算現額	8,831	8,835	6,416	10,902	12,153		
	(c) 増減額(b-a)	▲ 50	0	▲ 2,413	3,449	0		
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-		
	A. 計(b+d)	8,831	8,835	6,416	10,902	12,153		
	B. 執行済額	8,822	8,828	6,388	10,897	11,042		
	うち交付金充当額	7,057	7,062	5,111	8,717	8,833		
	次年度繰越額	0	0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)	99.9%	99.9%	99.6%	100.0%	90.9%		
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め、業務を執行することができた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況					
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	調査報告書(旧跡編)の原稿編集		目標	()	()	()	380ページ(100%)	
			実績				243ページ(63%)	
映像記録WEB公開		目標	()	()	()	32件		
		実績				0件		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 調査報告書(旧跡編)の原稿編集・監修の結果ページ数は減となったが、着実に目標達成することができた。 映像記録WEB公開方法について、地元自治会と折り合いがつかず公開できなかった。今後公開方法について検討を要する。 							
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(R4年度)	
	調査報告書(旧跡編)の発刊及び関係機関等へ配布		目標	()	()	()	発刊	()
			実績				発刊	
	【R3成果目標】WEB公開による年間アクセス数		目標	()	()	()	660回	()
			実績				1,194回	
	【R3成果目標】報告書(祭祀編)利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	80%	()
		実績				95%		
【R4成果目標】報告書利用者に対し村の歴史への理解度等に関するアンケートを実施し、本事業のあり方を検証する。		目標	()	()	()	()	(80%以上)	
		実績						
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 発刊した報告書については、広く普及・活用してもらうため、村内自治会のほか、県内の各市町村教育委員会、図書館、大学、その他関係機関等(約180冊)へ配布した。 WEB公開による動画再生回数は、目標を上回り多くの方が視聴した。 報告書(祭祀編)を利用した方へアンケートを実施し、内容を理解できた方が95%と目標を大きく上回った。 							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの影響(濃厚接触やワクチン接種後の副反応等による特別休暇等)により作業時間が減少したため完全原稿で入稿することができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスなど外部環境の変化等にも左右されない工程管理が必要である。作業遅延が生じた際の早期現状把握に努め、その都度見直し修正し成果目標の達成に努めた。

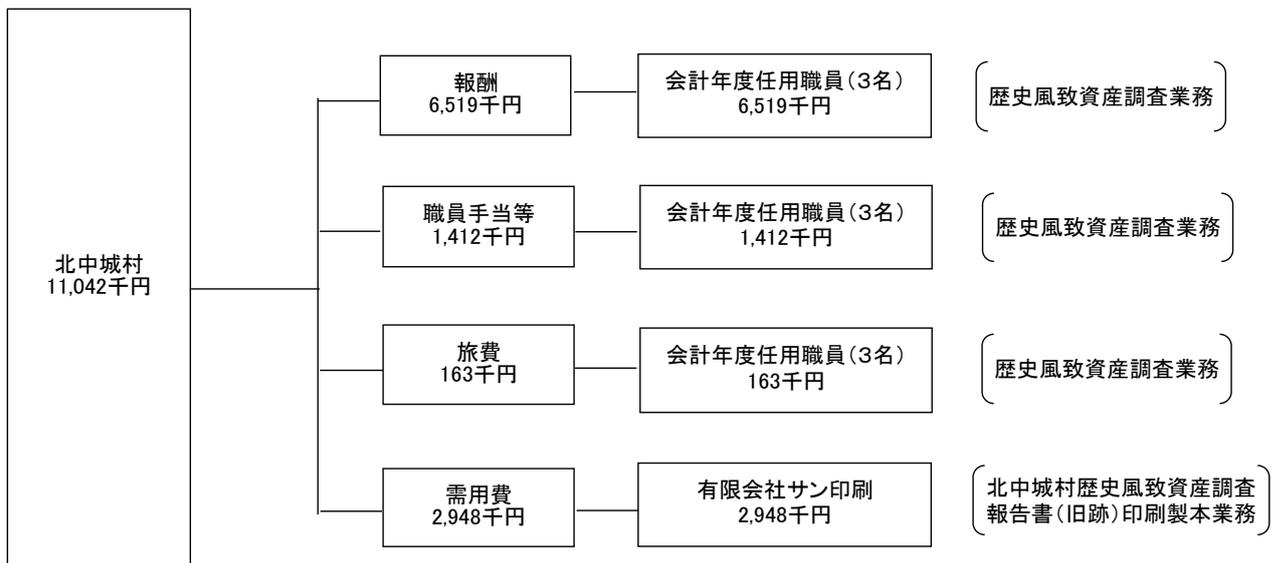
今後の取り組み方針

発刊した冊子については、下記の通り普及・活用を図る。

- ・村内の機関等(自治会、小中学校)に配布し、住民に村の歴史の一端にふれてもらう。
- ・県民が広く閲覧できるよう、県内の図書館へ配布・配架する。
- ・関連分野の研究に資するため、県内の教育委員会(地域史編纂所管部局)や大学、博物館、その他関係機関へ配布する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
11,042	11,042	8,833	2,209	

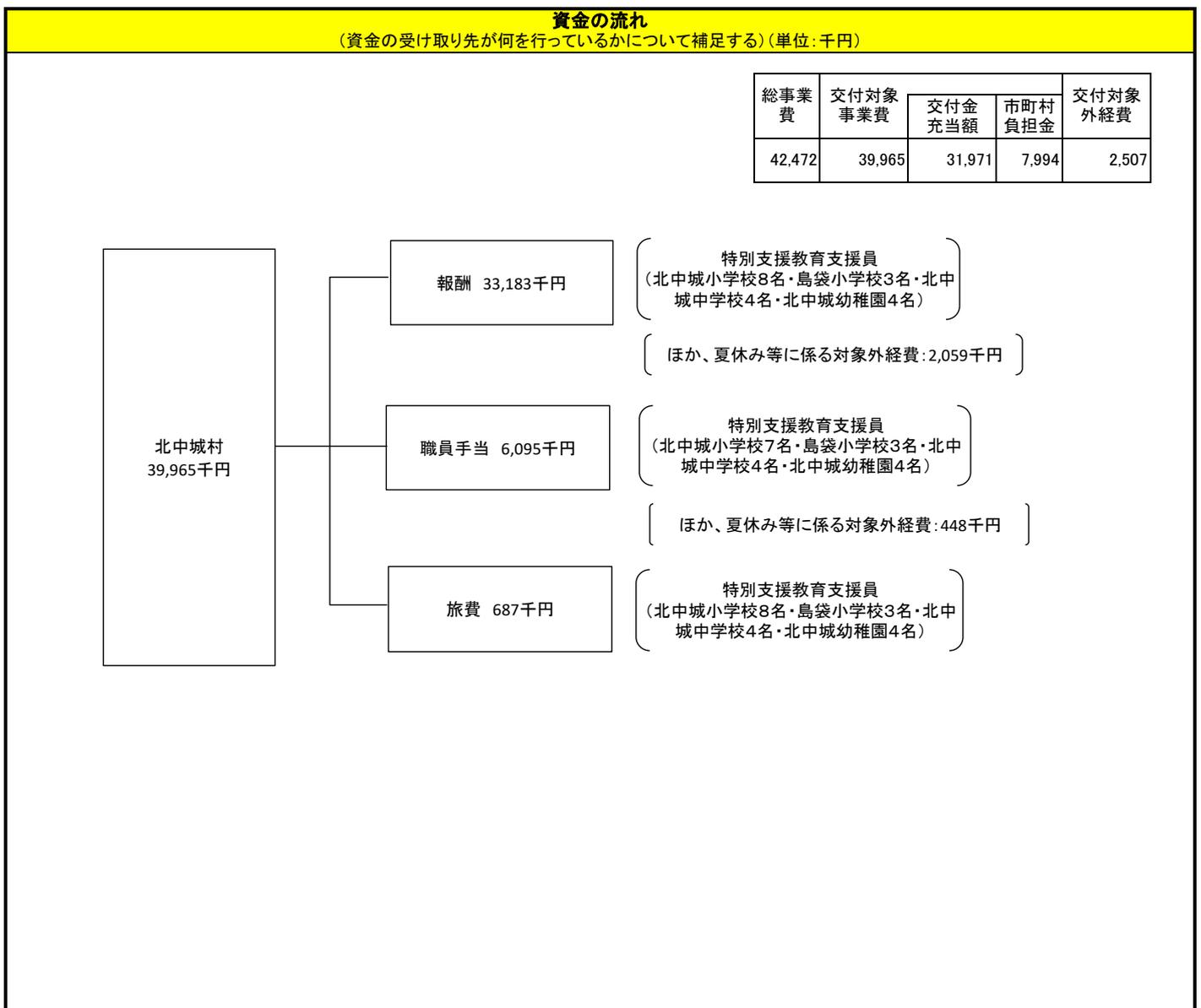


資金の流 れ、 点 検 評 価 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先について、村規則にのっとり専門知識を有する人員を委嘱しており妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・印刷製本費については、指名競争入札により印刷業者を選定しており、適正な価格であったと考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものか等について、額の確定時において支出に関する書類を点検した結果、適正であったと考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	特別支援教育支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ウ	
担当部署名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	障害等による特別な支援を要する児童生徒について、学校生活や学習上の困難の改善を図るため、私立幼稚園、小学校、中学校に特別支援教育支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	53,729	31,932	30,758	42,151	44,627
		(b) 予算現額	44,607	34,115	26,223	39,331	40,265
		(c) 増減額(b-a)	▲ 9,122	2,183	▲ 4,535	▲ 2,820	▲ 4,362
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	44,607	34,115	26,223	39,331	40,265
	B. 執行済額		44,169	34,115	26,223	39,331	39,965
	うち交付金充当額		35,335	27,292	20,978	31,464	31,971
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.0%	100.0%	100.0%	100.0%	99.3%
予算の状況の説明		夏休み等の長期休業中の勤務実績分を補助対象外経費としたことや勤務実績を踏まえ、4,362千円を減額し、適正な予算執行に務めた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	特別支援教育支援員の配置	目標	小学校:12人 (中学校:5人) 幼稚園:5人	小学校:10人 (中学校:4人) 幼稚園:4人	小学校:10人 (中学校:4人) 幼稚園:4人	小学校:10人 (中学校:4人) 幼稚園:4人	
		実績	小学校:12人 中学校:6人 幼稚園:5人	小学校:10人 中学校:4人 幼稚園:4人	小学校:10人 中学校:4人 幼稚園:4人	小学校:11人 中学校:4人 幼稚園:4人	
			目標	()	()	()	()
		実績					
達成状況説明	幼稚園及び小中学校すべてに支援員を配置できたことで、円滑に事業を実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	支援員に対する満足度(80%以上)を含め、対象となる児童生徒の保護者へのアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		92.8%	96.6%	93.7%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	当初の活動目標どおり支援員を配置し、きめ細かな支援を行ったことで、保護者の支援員に対する満足度が9割を超えており、成果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・保護者へのアンケートで「支援員の支援により子どもに変化があった」との回答が84%いることから、個々に応じた支援ができ、学校生活や学習上の困難の改善が図られている。一方で、「支援員がだれか分からない」という回答があったことから、学校に来れる機会が減った現状でも、保護者との連絡体制が充実できるような体制強化が、引き続き課題である。</p>	<p>・支援を要する幼児児童生徒の人数が年々増加しており、保護者からも「人員を増やしてほしい」という要望もあるが、限られた人員で更に効率的な活用に努める必要がある。</p> <p>・学校、保護者及び関係機関が連携しながら、対象児童等が安心して学校生活を送れるよう、個々に適した支援を行える体制の強化が必要である。</p> <p>・引き続き、個々の情報や多様な障がいなどに対する支援方法に関する知識を共有することで、支援方法の偏りを防ぎ、支援の質の向上を図る必要がある。</p> <p>・保護者の要望も多様なため、支援員ごとの支援の偏りや差をなくし、支援に一貫性を持たせられるよう、スキルアップや情報共有を徹底する必要がある。</p>

今後の取り組み方針
<p>・個々に適した支援体制を強化するため、「個別の教育支援計画」を作成し、支援の充実を図る。</p> <p>・引き続き、支援員を対象とした研修会の開催や情報共有の場を多くすることで支援員の人材育成に取り組む。</p>



資金の流 れ、 点 検 ・ 費 目 ・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支援員は、面接を経て、経験や業務に対する意欲がある者を採用しており、妥当であると判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、村規則等に基づき積算しており妥当であったと判断する。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・児童生徒が不在の長期休業期間等は対象外経費としており、費目や用途は事業目的に即したものであると判断する。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

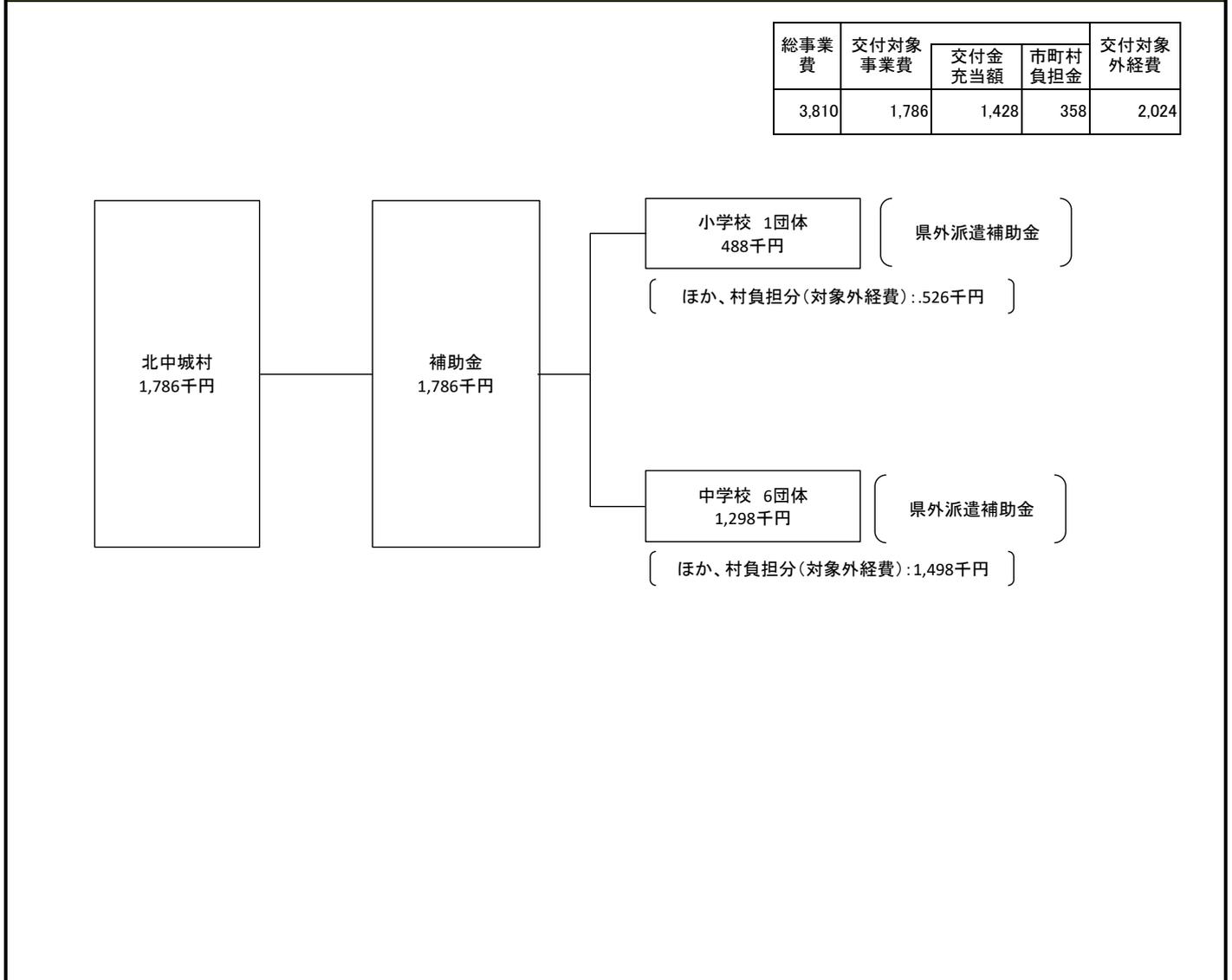
市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-②	学習支援員配置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-ア	
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成27～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	学習の遅れがちな児童生徒に対する支援を行うため、村立小中学校に学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	5,406	4,590	5,410	7,313	7,789
	(b) 予算現額	4,607	4,326	4,695	7,105	6,490	
	(c) 増減額(b-a)	▲799	▲264	▲715	▲208	▲1,299	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	4,607	4,326	4,695	7,105	6,490	
	B. 執行済額	4,556	4,326	4,695	7,105	6,293	
	うち交付金充当額	3,644	3,460	3,756	5,684	5,034	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	97.0%	
予算の状況の説明	夏休み等の長期休業中の勤務実績分と2か月支援員が不在となった額を補助対象外経費としたことや勤務実績を踏まえ、1,299千円を減額し、適正な予算執行に務めた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
	学習支援員の配置	目標	(小学校:2人 中学校:1人)	(小学校:2人 中学校:1人)	(小学校:2人 中学校:1人)	(小学校:2人 中学校:1人)	
		実績	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:1人	小学校:2人 中学校:1人	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	年度当初には、小中学校すべてに支援員を配置することができた。北中城小の支援員が途中退職により二か月不在となったが、活動目標を概ね達成したことで、事業を円滑に実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	沖縄県学力到達度調査における平均正答率30%未満の割合の減少 小学5年生:算数(12.0%以下) 中学2年生:数学(32.2%以下)	目標	()	(小5算数:18.5%以下 中2数学:37.6%以下)	(小5算数:8.9%以下 中2数学:32.8%以下)	(小5算数:12.0%以下 中2数学:32.2%以下)	()
		実績		小5算数:15.0% 中2数学:23.1%	小5算数:29.6% 中2数学:32.7%	小5算数:16.2% 中2数学:41.2%	
	沖縄県学力到達度調査における無答率の割合の減少 小学5年生:算数(4.5%以下) 中学2年生:数学(11.1%以下)	目標	()	(小5算数:6.8%以下 中2数学:10.5%以下)	(小5算数:8.9%以下 中2数学:11.1%以下)	(小5算数:4.5%以下 中2数学:11.1%以下)	()
		実績		小5算数:6.5% 中2数学:9.8%	小5算数:12.0% 中2数学:6.8%	小5算数:6.3% 中2数学:9.6%	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率30%未満の割合については、小学校・中学校ともに目標値を達成できなかった。 無答率の割合についても、小学校で達成できなかったが、昨年度よりも改善しており、中学校においては成果目標を達成している。 目標が未達成なものはあるが、学習の遅れがちな児童生徒への声かけや支援を行い、教師とのチームティーチングにより、学習支援が充実できた。 						

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-③	児童生徒の県外派遣旅費等支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ	
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3	
事業内容	県外大会への参加を全児童生徒に等しく機会を与え、児童生徒の視野を広げるため、学校教育の一環として派遣されるものに対し、派遣費用を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,537	2,537	2,440	2,440	3,450
		(b) 予算現額	3,177	4,231	4,511	350	3,450
		(c) 増減額(b-a)	640	1,694	2,071	▲ 2,090	0
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	3,177	4,231	4,511	350	3,450
	B. 執行済額		2,853	4,231	4,511	332	1,786
	うち交付金充当額		2,282	3,384	3,609	265	1,428
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		89.8%	100.0%	100.0%	94.9%	51.8%
予算の状況の説明		1,664千円の不用額は、個人種目の派遣団体が3団体あり、派遣者数が当初の見込み数を下回ったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	県外への派遣団体数	目標	(5団体)	(5団体)	(6団体)	(8団体)	
		実績	8団体	8団体	2団体	7団体	
			目標	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	コロナ感染拡大の影響により直前に派遣を中止した団体が1団体あったものの、九州大会6団体、全国大会1団体、延べ90人の児童・生徒を県代表として派遣することの支援ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	派遣された児童生徒の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。	目標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実績		95.1%	97.0%	92.7%	
			目標	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	・大会派遣後の児童生徒の様子について、92.7%の保護者(80人)が、「視野が広がった」「積極的になった」など意欲が高まっていると回答し、目標を達成することができた。 ・学習意欲についても、「学習は当り前の前提条件としているため向上しているとは言えない・以前と変わらない」と答える保護者がいるものの、88.2%が「向上している」と答えており、県外大会への参加が学習面においてもモチベーションの向上に寄与していることが確認でき、児童生徒にとって効果が高い事業であると考え。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 学校と連携して補助対象の児童・生徒の把握に努めたことで対象者全員へ支援することができた。 派遣決定していた団体が、コロナの影響により直前に派遣中止となったこともあり、派遣目標値の団体数を達成することが出来なかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助対象の児童・生徒全員への支援については、コロナ禍で県外への派遣決定が遅れる中でも、本制度の周知と学校と密に連携をとることでうまく事業を推進できているので、改善の必要はないものと考えられる。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き学校へ本制度の周知を行い、学校と密に連携をとることで対象となる児童生徒の把握に努め、補助対象の児童・生徒全員への支援に取り組む。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	補助先への交付決定は、要綱等に則り行っており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は村の規定に基づき適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者負担額を1/2としており、負担割合は妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については、実績報告等で確認・精査しており、事業目的に即した必要なものであると判断する。

市町村名	北中城村						
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-④	小中学生県外派遣支援(社会教育関連)事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-イ		
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成29～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	能力を引き出し、感性を磨く人づくりの推進 Ⅲ-3		
事業内容	村に在住する子ども達に対して等しく県外大会に参加する機会を与えることで子ども達の視野を広げるため、村・県を代表して派遣されるスポーツ・文化活動に対して航空運賃を補助する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	494	494	950	950	950
		(b) 予算現額	886	940	616	9	100
		(c) 増減額(b-a)	392	446	▲ 334	▲ 941	▲ 850
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
		A. 計(b+d)	886	940	616	9	100
	B. 執行済額		886	940	616	9	100
	うち交付金充当額		708	751	493	7	80
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		不用額850千円については、新型コロナウイルス感染症の影響により、派遣大会等が中止となったことによるものである。					
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	・県外大会への派遣者数		目標 (26 名)	(50 名)	(50 名)	(50 名)	
			実績 58 名	40 名	1 名	11 名	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	・新型コロナウイルス感染症対策による大会中止等の影響により、活動目標を大きく下回った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	派遣された児童の視野が広がったか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケート調査により、本事業のあり方について検証する。		目標 ()	(80 %)	(80 %)	(80 %)	(%)
			実績	100%	100%	100%	
			目標 ()	(%)	(%)	(%)	(%)
			実績				
進捗状況説明	・保護者へのアンケートにて「視野が広がった」「目標を高く持つようになった」との回答があり、成果目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響による派遣大会の中止により、本事業を活用する機会が減少した。</p>	<p>・大会中止等への対応は難しいが、各種大会・文化活動の情報収集に努め、本事業による活動について、学校・スポーツ少年団・文化部等への周知を図り、機会の創出に漏れがないようにする。</p>

今後の取り組み方針

・ホームページ等の広報活動による周知を行うとともに、学校・スポーツ少年団・クラブチーム等との情報共有による事業周知を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		交付金	市町村負担金	
201	100	80	20	101



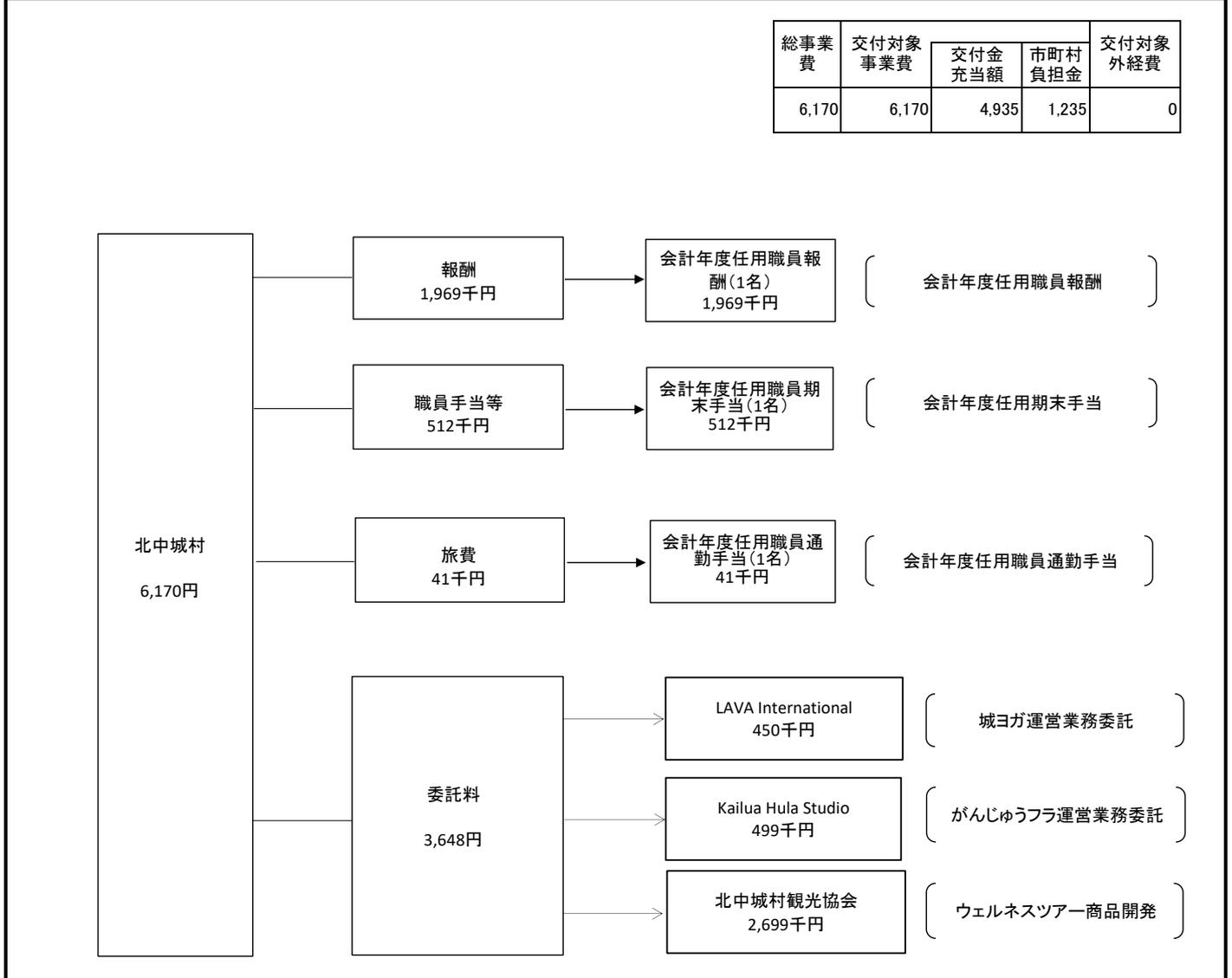
資金の流 れ、 点 検 評 価 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助先は、要綱等に則り交付決定を行っており、妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・不用額が発生したが、予算規模は適正であると考えられる。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・航空運賃以外は受益者にて負担しており、負担割合は妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、実績報告等で確認・精査しており、事業目的に即した必要なものであると判断する。

市町村名		北中城村					
令和3年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	8-①	健康長寿のまちづくりアクション事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-ア	
担当部課名	企画振興課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の食や風土に支えられた健康づくりの推進		
事業内容	本村の健康課題にアプローチするコロナ対応型健康イベントを実施し、村民の運動習慣の啓発に繋げる。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
		(a) 当初予算額	5,602	4,984	7,353	7,114	7,874
	(b) 予算現額	5,855	5,044	6,727	6,438	7,874	
	(c) 増減額(b-a)	253	60	▲ 626	▲ 676	0	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)	5,855	5,044	6,727	6,438	7,874	
	B. 執行済額	4,986	4,058	6,711	6,433	6,170	
	うち交付金充当額	3,988	3,246	5,369	5,146	4,935	
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	85.2%	80.5%	99.8%	99.9%	78.4%	
予算の状況の説明	1,704千円の不用額は、ウェルネスツアーにおいて緊急事態宣言等の影響により実施プログラムの変更がなされたことによるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R3活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	庁内連携による健康サポートチーム会議のオンライン開催	目標	()	()	()	(3回)	
		実績				3回	
	ウィズコロナに対応した城ヨガ等の開催	目標	()	()	()	(5回)	
		実績				8回	
	コロナ対応型健活フェスタの開催	目標	()	()	()	(1回)	
		実績				0回	
	小グループ対象のウェルネスツアーの実施	目標	()	()	()	(3回)	
		実績				7回	
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 健康サポートチーム会議については新型コロナウイルス感染防止のためオンラインによる開催で計画どおり実施した。 城ヨガは対面で4プログラム実施することができた。専門性の違う講師を招聘し、ヨガの内容や運動強度を変えたプログラムを実施し多くの方にご参加いただいた。その他がんじゅうフラをオンラインにより4回実施したことで、今年度の活動目標(5回)を上回る8回実施することができ、成果目標を大きく上回る実績となった。 健活フェスタについては新型コロナウイルス感染防止のため未実施となった。 ウェルネスツアーは新型コロナウイルス感染防止のため県内在住の方を対象とした日帰りツアーを実施した。また、ヨガやまち歩き等のウェルネスプログラムを実施した。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	R3成果目標(指標)		基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値(年度)
	健康イベントへの総参加者数	目標	()	()	()	(150人)	()
		実績				397人	
	ウェルネスツアー総参加者数	目標	()	()	()	(90人)	()
		実績				71人	
	進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 健康イベントの総参加者数は対面での開催だけではなく、オンライン開催を実施したため、目標を大きく上回る方に参加いただいた。 ウェルネスツアーは新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言やまん延防止等重点措置下において、スケジュール変更を余儀なくされたものの、71名の方が参加し目標値には届かなかったものの概ね目標は達成できたものとする。 					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言の発出で当初対面での開催予定であったが、がんじゅうフラが急遽オンラインに変更となったことで、参加できない方も一定数いた。	・急なオンライン変更により参加ができなくなることはないよう、当初から対面とオンラインのハイブリット開催を検討する必要がある。対面についてはコロナ感染防止対策を徹底したうえで参加定員を増やしていくなどの改善が今後必要であると考えます。

今後の取り組み方針
・新型コロナウイルス感染防止を図りながら多くの村民が安心して参加できる施策の展開について検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務については村契約規則に則り契約を行っており妥当であると考えます。 ・予算規模は、事前に見積り等を踏まえ積算しており、妥当であったと判断する。 ・費目や用途については、完了時に検査を実施しており、目的に即し必要であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	